

マレーシア職業訓練指導員・  
上級技能訓練センター(CIAST)  
計画打合せ調査団報告書

1988年7月

国際協力事業団  
社会開発協力部

海 七

JR

88-148



18565

JICA LIBRARY



1071133[1]



マレーシア職業訓練指導員・  
上級技能訓練センター(CIAST)  
計画打合せ調査団報告書

1988年7月

国際協力事業団  
社会開発協力部



## 序 文

昭和56年1月、ASEAN 諸国を歴訪された鈴木元総理大臣の提唱による ASEAN 人造り構想に賛同したマレーシア政府は第4次マレーシア5カ年計画に沿った職業訓練指導員・上級技能者訓練センター（CIAST）の設立を計画し、わが国に協力を要請してきた。

この要請に基づき、当事業団は、昭和56年8月以降4回にわたる調査団の派遣の後、57年8月に派遣した実施協議調査団により本件プロジェクト協力に係る討議議事録（R/D）の署名を了し、5年間にわたる協力を開始した。

昭和61年11月当事業団は、プロジェクト協力期間の終了を前にして、計画打合せ調査団を派遣し協力期間延長の必要の有無について協議し、さらに62年7月にエバリュエーション調査団を派遣した結果、プロジェクト15部門のうち工作機械、教材開発など8部門について1年7カ月ないし2年7カ月の延長をすることとなった。

今般、協力期間延長後の実績についてレビューを行い、今後の実施計画について協議するため昭和63年7月6日から7月15日まで雇用促進事業団監事笠原昌平氏を団長とする計画打合せ調査団を派遣した。

本報告書は同調査団の現地調査及びマレーシア側との協議の結果を取りまとめたものである。終りに、本調査団派遣に当たり御協力頂いた外務省、労働省及び国内協力機関ならびに派遣専門家の皆様に、深甚なる謝意を表する次第である。

昭和63年7月

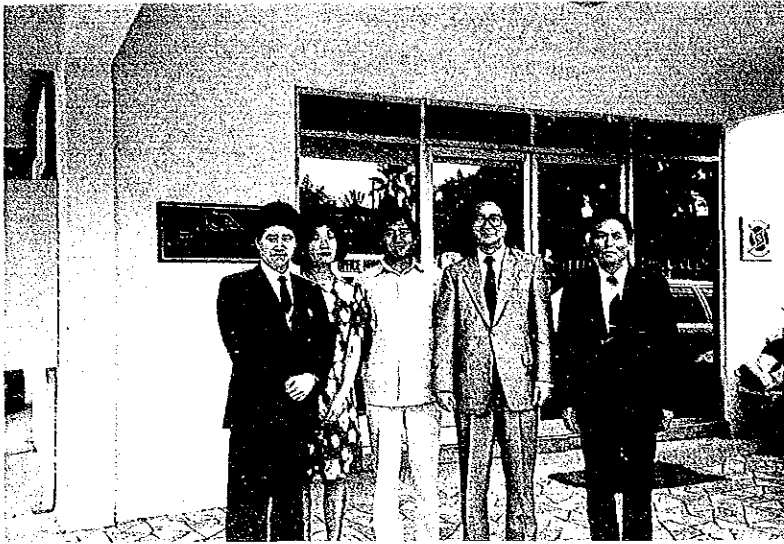
国際協力事業団

社会開発協力部長

山下生比古







調査団と上原チーフ・アドバイザー



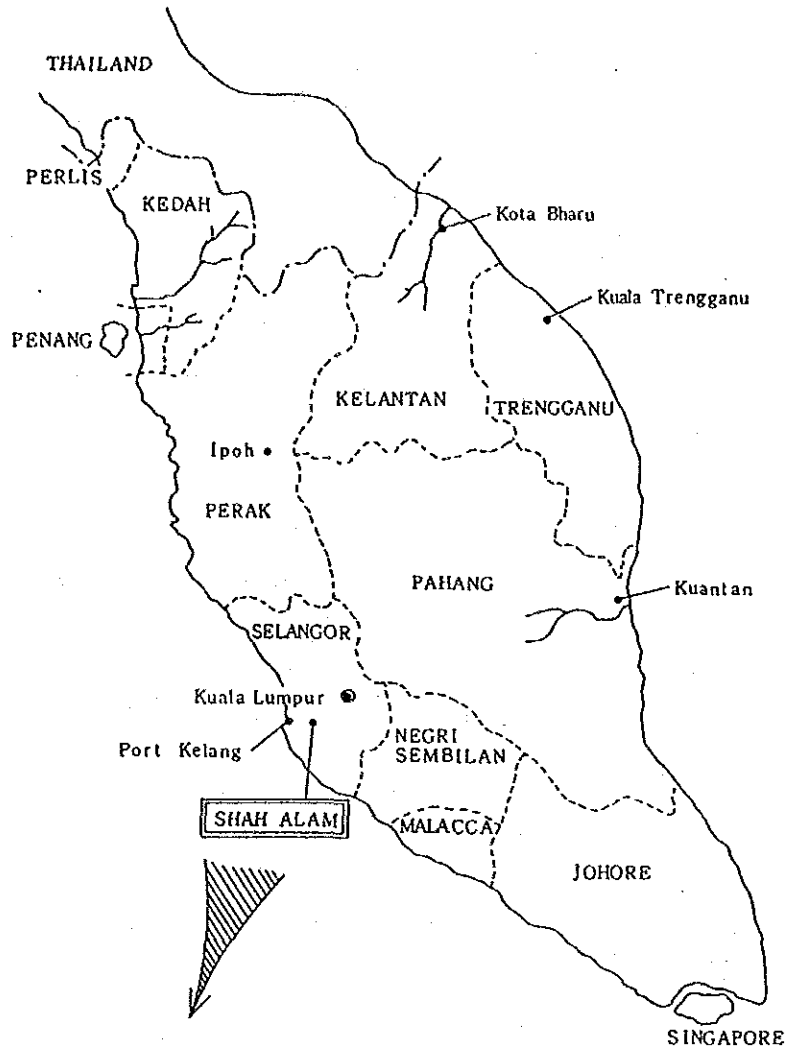
専門家からの事情聴取



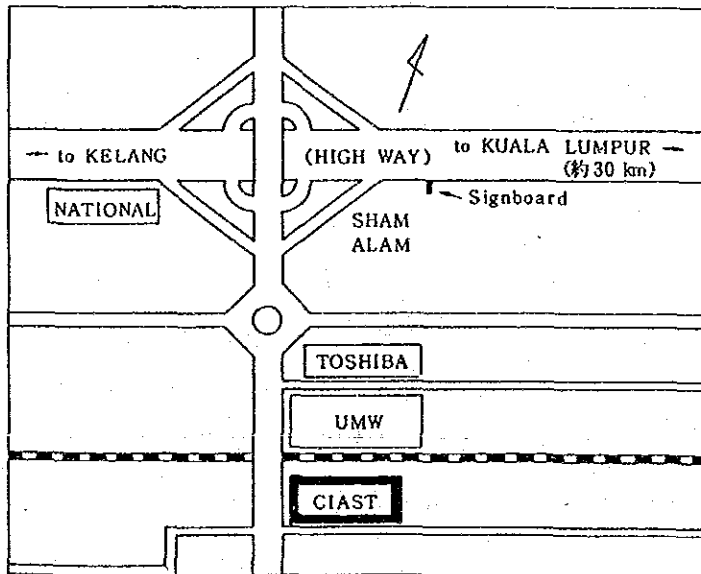
ミニッツの署名  
(マレイシア側は、リム労働事務次官補)



<半島マレーシア概略地図>



CIAST 所在地





## 目 次

序文

写真

地図

1. 調査団 .....	1
1-1 調査団派遣の経緯と目的 .....	1
1-2 調査団の構成 .....	1
1-3 調査団の活動日程 .....	1
1-4 調査団が会談した主な人々 .....	2
2. 調査と協議のまとめ .....	4
3. プロジェクト実施の経過と計画 .....	6
3-1 モジュールの開発 .....	6
3-2 訓練の実施 .....	6
3-3 ASEAN 域内訓練の実施 .....	13
3-4 専門家の派遣 .....	15
3-5 カウンターパートの配置 .....	16
3-6 カウンターパートの受入研修 .....	19
3-7 機械、設備の使用と管理 .....	19
3-8 マレーシア側のプロジェクト予算 .....	20
4. 技術協力終了後のフォローアップ等 .....	24
資料 .....	25
1 Minutes of Discussions .....	27
2 List of Counterparts .....	49
3 Maintenance Contract .....	57
4 Proposal for the Utilization of CIAST's Language Laboratory .....	59
5 Follow-up Technical Cooperation .....	62



## 1. 調査団

### 1-1 調査団派遣の経緯と目的

本件プロジェクト実施に係る討議議事録 (R/D) は1982年8月20日署名され、5年間の協力が開始された。翌年7月以降専門家が派遣され本格的技術協力活動が開始された。

また、1984年3月にわが国の無償資金協力による CIAST 第1期分建物建設工事及び機材供与が、1985年3月には第2期分が予定通り完成し、同年8月開所式が行われた。

1987年7月に派遣したエバリュエーション調査団の調査の結果、R/D 協力期間を1990年3月31日まで延長することとなった。

今般の計画打合せ調査団は、1988年8月20日をもって延長されたその後のプロジェクトの進捗状況についてレビューを行い、併せて今後の計画について協議する目的で派遣された。

### 1-2 調査団の構成

- |                      |                                  |
|----------------------|----------------------------------|
| 1. 笠原昌平 (総括)         | 雇用促進事業団監事                        |
| 2. 春木節子 (訓練計画)       | 労働省職業能力開発局企画室長補佐                 |
| 3. 福村英俊 (教材開発)       | 雇用促進事業団職業訓練研究センター事務・サービス系訓練研究室室長 |
| 4. 佐々木副旺 (協力企画・業務調整) | 国際協力事業団社会開発協力部海外センター課課長代理        |

### 1-3 調査団の活動日程

- |         |       |                                   |
|---------|-------|-----------------------------------|
| 7月6日(水) | 15:50 | クアラルンプール・スバング空港着 (JL721)          |
|         | 19:00 | CIAST 専門家チームリーダー主催夕食会 (フェデラル・ホテル) |
| 7月7日(木) | 9:30  | JICA 事務所訪問                        |
|         | 11:05 | 日本国大使館訪問                          |
|         | 12:00 | CIAST 訪問                          |
|         | 12:30 | ワン・スマン CIAST 所長主催昼食会              |
|         | 午後    | CIAST にて日本人専門家と打合せ                |
| 7月8日(金) | 午前    | 日本人専門家と打合せ                        |

	15:00	労働省（事務次官，第一次官補，人的能力局長）表敬訪問
7月9日(土)		関係資料収集
7月10日(日)		資料整理
7月11日(月)	9:00	CIAST 合同委員会第一回会合（労働省会議室）
	14:00	議事録起案
	19:30	JICA 事務所長主催夕食会（パン・パシフィック・ホテル）
7月12日(火)	午前	議事録起案
	14:15	CIAST 合同委員会第二回会合（議事録作成）
	17:30	議事録署名
7月13日(水)	午前	CIAST 専門家と打合せ
	12:45	労働事務次官主催昼食会（パン・パシフィック・ホテル）
	午後	資料整理
7月14日(木)	午前	CIAST 専門家と打合せ
	午後	日本国大使館及び JICA 事務所へ報告
	20:00	団長主催夕食会（ヒルトン・ホテル）
7月15日(金)	10:30 A.M.	スバング空港発（MH72）

#### 1-4 調査団が会談した主な人々

##### マレーシア側

- |  |   |
|--|---|
| 1. Nik Mohamad Amin bin<br>Nik Abu Baker | Secretary General Ministry<br>of Labour                                       |
| 2. Lim Boh Ang                           | Deputy Secretary General,<br>Ministry of Labour                               |
| 3. Haji Alias bin Sulaiman               | Director General,<br>Manpower Department                                      |
| 4. Wan Seman bin Wan Ahmad               | Director,<br>CIAST  |
| 5. Wan Norma binti Daud                  | Assistant Director,<br>Economic Planning Unit,<br>Prime Minister's Department |



6. Shaharuddin bin Mat Ajil                      Assistant Director,  
Economic Planning Unit,  
Prime Minister's Department
7. Abas bin abd. Rahman                      Principal Assistant Director,  
Public Services Department
8. Than Tai Hing                      Assistant Secretary (ASEAN Division),  
Ministry of Foreign Affairs
9. Teddy Lian Kok Fei                      Principal Assistant Secretary,  
Ministry of Labour
10. Azizah binti Haji Mohamad                      Assistant Secretary,  
Ministry of Labour

日本側

1. 小池寛治      日本大使館公使
2. 三村穰      日本大使館公使一等書記官
3. 松崎孝雄      JICA マレーシア事務所長
4. 上原信博      CIIAST チーフ・アドバイザー

## 2. 調査と協議のまとめ

われわれ調査団の現地における主な活動は、CIAST を視察して日本人専門家及びカウンターパートから事情を聴くこと、相手側関係者と会談することならびに第7回 CIAST 合同委員会の場において相手方と協議を行うことの三つであった。10日間にわたるこれらの活動を通じて得られた結果は、およそ次のとおりである。

その一つは、プロジェクトがひきつづき順調に実施されていること。すなわち、

- ① 再開発計画モジュール59のうち、すでに32 (54%) が再開発済みで、残り27についても協力期限の1990年3月末までに再開発を終了できる見込み、と日本人専門家チームは述べている。
- ② 最近1年間（協力期間延長後）の訓練実施は120コース、その受講者は756人であり、それ以前の1年間の実績をかなり上回っている。
- ③ 受講者中首都圏（クアラルンプール市及びセランゴール州）以外の地域からの参加の割合は1988年の実績で5割をこえており（それ以前は毎年2～3割）、CIAST 活動の全国的普及が進んだ。

その二つは、ASEAN 域内訓練が成功裡に開始されたこと。すなわち、CIAST 訓練をマレーシア国内だけでなく、広く ASEAN 諸国にも開かれたものにするというのがプロジェクト当初からの課題であったところ、1988年2月この ASEAN 諸国向けの2訓練コースが24人の参加をえて成功裡に実施された。

この実績の上に立って、相手方はさらに、1988年11月に4コース、1989年11月には8コースを実施するべく準備を進めている。

その三つは、プロジェクト運営上の懸案とみられていた次の3項目について、望ましい結果が得られたこと。

- ① モジュール再開発のために必要なカウンターパートの配置
- ② CIAST カウンターパートを JICA 集団研修へ参加させるための、マレーシア政府内関係機関の調整
- ③ 供与機材を対象とするメンテナンス契約の締結

それぞれについての詳細は、合同委員会の Minutes of Discussions 及び本報告書の各節に述べられている。このうち、上記③は、供与機材のうち先端機器数種を対象に相手方がみずからの負担においてメンテナンス契約を結ぶにいたったもので、永年の懸案であった供与機材の保安全管理の問題に対する一つの答として注目される。

そしてその四つは、技術協力終了部門に対するフォローアップなどについて協議を行ったこと。

フォローアップに関する相手方の要望は、長短期専門家ないしアドバイザーの派遣、カウンターパートの受入研修など多項目にわたったが、当プロジェクト再延長に類する要望には応じられない旨答え、協議の範囲は必要と認められる短期専門家の派遣にとどめた。

なお、相手方は本技術協力終了後について、CIASTを土台とした新プロジェクト計画の検討を急いでおり、その構想はいまのところ、CIASTに研究開発機関を付置すること、CIASTをアジア域内センターにまで発展させること、CIASTを近く発足が予定される NVTC (National Vocational Training Council, 労働省、文部省、文化青年スポーツ省及びマレイ人振興公団により構成される) の傘下に移し、より全国的計画的な活動を展開することなどとみられる。すでにその一端はこんどの合同委員会における相手側発言に現われたが、これはわれわれ調査団の関与すべき範囲の外にあるので、この旨を伝えて相手の了解をえた。

### 3. プロジェクト実施の経過と計画

#### 3-1 モジュールの開発

マレーシアの職業教育訓練事業は労働省をはじめとして、MARA 公団、文化青年スポーツ省 (The Ministry of Culture Youth and Sports)、文部省 (The Ministry of Education) などの教育訓練施設において行われている。

その中でマレーシア職業訓練指導員・上級技能訓練センター (CIAST) はこれら教育訓練施設の頂点に位置付けられ、これら施設の指導員の養成と向上、民間企業の監督者などの向上のための訓練を実施している。

1987年8月20日技術協力期間延長以後のモジュールの再開発は、産業界の技術の変化・革新に沿って、いままでに開発したモジュールの見直しを行い、あるものについては技能の幅を広げ、あるものについては技能水準を高め、あるものについては現行モジュールを組替えるという方法によって行うこととされ、59モジュールの再開発が計画されている。

この59モジュールの構想は1987年7月、阿部ミッションによって協議されたが、その後の変更としては電気制御部門でEE 7 A. 4 Basic Languageを追加し、さらにこれを実用技術の観点から内容の検討を進めていること。計装・自動制御部門でI 3 B. 3 Basic Digital Controllersを拡張しI 3 B. 1 Distributed Control System Fundamental, I 3 B. 2 Distributed Control System Application, I 3 B. 3 Yewpak Basicの、3モジュールとしたことなどがある。

モジュールの開発状況は、表一1のとおりである。協力期間延長後の1年間に再開発計画モジュール59中32 (54%) が再開発済みであり、残る27についても合同委員会における協議の結果、協力期間中に再開発できる見通しが得られた。

#### 3-2 訓練の実施

##### (1) 訓練実施の実績

訓練の実施状況は、表一2のとおりである。

最近1年間において120コースを開き、756人がこれを受講している。これをそれ以前の1年間と比較するとコース数において2割増しとなっている。

部門別にみると、指導技法、監督技法、教材開発、自動車などにおいてコース数、受講者数が多いことは従来どおりであるが、最近1年間に、溶接、金型、熱処理などにおいて、コ

表-1 モジュール開発状況

年 月 科 (部門)	1984年5月～1987年8月		1987年9月～1990年3月	1987年9月～1988年7月
	開発計画	開発済	再開発計画	再開発済
	モジュール数	モジュール数	モジュール数	モジュール数
指導員・監督者科 (指導技法・長期)	1	1	(当初協力期間で終了)	
(指導技法・短期)	7	7	( " )	
(監督技法)	7	7	( " )	
(教材開発)	2	2	(モジュール開発は終了。 各科関係教材開発を行う)	
自動車科	14	14	10	3
機械工作・金型科 (金 型)	4	4	10	7
(機 械)	8	8	10	6
(鍛造・熱処理)	4	4	(当初協力期間で終了)	
金属加工科 (溶接・製缶)	5	5	6	3
(プレス)	4	4	(当初協力期間で終了)	
重工業科 (鑄造・鑄込み)	7	7	5	2
(ゴム成形)	3	3	(当初協力期間で終了)	
(プラスチック成形)	2	2	( " )	
電気・電子科 (電 気)	7	7	13	9
(電 子)	6	6	(当初協力期間で終了)	
計装・自動制御科	7	7	5	2
計	88	88	59	32

(注) 電気部門は1987年8月以降再編成されて「電気制御 (Electrical Control)」部門となった。

表-2 訓練の実施状況

科	1984 May~Dec		1985 Jan~Jun		1985 Jul~Dec		1986 Jan~Jun		1986 Jul~Dec		1987年 Jan~Jun		1987 Jul~Dec		1988 Jan~Jun		計	
	コース	受講者	コース	受講者	コース	受講者	コース	受講者	コース	受講者	コース	受講者	コース	受講者	コース	受講者	コース	受講者
(部門)																		
指導員・監督者科	1	11	1	13	2	70	1	13	2	70	2	31	1	35			6	169
(指導技法・長期)	6	89	2	69	2	30	5	69	2	30	2	31	6	59	5	48	35	425
(指導技法・短期)			2	20	4	38	2	20	4	38	8	50	8	70	10	99	39	332
(監督者)			3	34	1	4	3	34	3	53	2	29	2	20	4	37	15	177
(教材開発)	2	12	3	41	8	51	7	41	7	54	6	45	8	67	5	37	46	339
自動車科																		
機械工作・金型科																		
(金 型)			1	1	1	5	1	1	1	5	5	18	2	10	2	9	6	25
(機 械)			1	14	3	12	4	14	3	12	5	18	7	25	3	9	26	94
(鍛造・熱処理)			1	2	1	7	1	2	2	7	4	18	4	18	2	6	10	37
金属加工科																		
(溶接・製缶)			1	10	4	22	2	10	4	22	4	21	5	27	5	24	21	105
(プレス)			1	4	2	4	2	4	4	22	4	21	1	3			4	8
重工業科																		
(鑄造・鋳込み)			1	5	3	6	1	5	3	6	2	12	5	20	2	4	14	50
(ゴム成形)			1	6	1	2	1	6	1	2	2	5	2	12	1	1	7	26
(プラスチック成形)			1	6	3	13	1	6	3	12	1	3	2	6	3	15	13	55
電気・電子科																		
(電 気)	1	7	2	17	2	31	2	17	5	31	4	27	4	15	5	30	23	136
(電 子)			1	2	1	2	1	2	1	2	3	11	3	10	3	7	12	34
計装・自動制御科			2	8	2	20	3	22	5	20	3	14	5	20	5	13	23	97
合計	9	112	11	117	37	222	35	262	46	364	42	276	65	417	55	339	300	2,109

(注) ASEAN 域内訓練を含む。

ース数、受講者数が増えてきている。

1コースあたりの受講者数は、最近1年では6.3人で、従来よりやや減少している。

## (2) 州別受講状況

CIASTは全国的訓練機関として位置づけられており、広域的に受講者を募集するのが望ましい。

しかしながら、受講者はプロジェクト発足当初においてクランバレー（クアラルンプール市とセランゴール州）からの者が圧倒的に多く、大きな偏りがあった。このため、CIASTでは職員を各州に派遣し、産業訓練所や雇用事務所へ協力を依頼したり、州段階でCIAST受講資格試験を実施したりしてきたが、さらに1988年3月には「CIAST訓練受講促進セミナー」を開き、各州の雇用事務所幹部や使用者団体の役員をCIASTに招いて、CIAST活動状況を紹介した（参加者は53人）。

これらの活動の結果、1987年からクランバレー地域以外からの参加者が増えはじめ、1988年にはペラク、ジョホールなどの州からの参加が急増した。

その状況は、表-3、図-1に示すとおりである。

クランバレー地域の就業者は全国の約3割と推定されるから、1988年6月にはいって参加率が49%まで低下したことは、CIAST訓練受講者の全国的普及がかなりの程度まで進んできたことを示すものといえる。

## (3) 学歴別受講状況

受講者の学歴別受講状況は、表-4に示すとおりである。

これをみると受講者は高卒者を中心に広範囲に受講していることがわかる。その中でも、大学卒及び短大卒（デプロマ取得者）の割合が、1985年から1988年までの平均で16.6%に達している。

マレーシアでは近年進学率が向上し、新たに学校を卒業した者の内大学及びデプロマ取得者の占める割合が約10%に達しているが、CIAST受講者の大学卒業及び短大卒（デプロマ取得者）の割合が16.5%というのは相当高いといえる。

## (4) 計画と実績の対比

1987年9月から1988年5月までの部門別計画コース数と実施コース数を対比したものが、表-5である。これによると185コースを計画し、107コース（58%）実施している。

その中で、監督技法、教材開発、自動車、溶接・製缶、電気、計装・自動制御が計画に対し実施率が比較的よい。これに対し指導技法（短期）、金型、機械、プレス、ゴム成形、電子

表-3 州別受講状況

年 受講者数, % 州名	1985年		1986年		1987年		1988年		計	
	(1月~12月)		(1月~12月)		(1月~12月)		(1月~6月)			
	受講者数	%	受講者数	%	受講者数	%	受講者数	%	受講者数	%
ペルリス (PER)			1		1		—		2	
ケダ (KED)	2		16		9		9		36	
ペナン (PG)	19		20		20		6		65	
ペラク (PK)	25		13		27		76		141	
クランタン (KEL)			16		19		6		41	
トレンガス (TER)	3		11		12		14		40	
パハン (PAH)	9		5		17		6		37	
クアラルンプール (K.L.)	56	17	302	48	219	32	55	18	632	32
セランゴール (SEL)	200	59	198	32	277	40	97	31	772	39
ネグリセンビラン (N.S.)	12		19		9		5		45	
マラッカ (MEL)	1		3		14		1		19	
ジョホール (JOH)	10		21		38		27		96	
サバ (SAB)	2		1		7		9		19	
サラワク (SAR)			—		24		4		28	
計	339	100	626	100	693	100	315	100	1,973	100

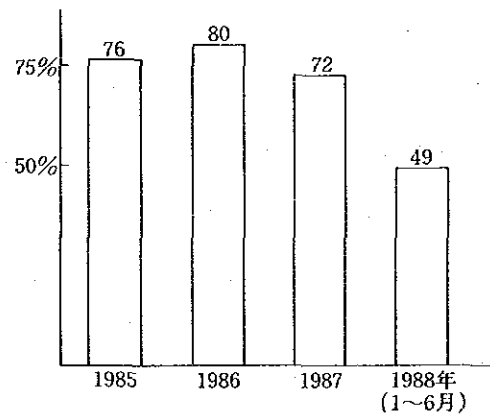


図-1 1985年~1988年のクランバレー地域からの受講者の割合



表-4 学歴受講状況

年	大卒		短大卒		高卒		中卒		その他		計
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	
1985	5	1.5	42	12.4	232	68.4	52	15.3	8	2.4	339
1986	38	6.1	72	11.5	376	60.1	118	18.8	22	3.5	626
1987	36	5.2	89	12.8	413	59.6	143	20.6	12	1.7	693
1988 (JAN~JUN)	27	8.6	18	5.7	183	58.1	87	27.6	—	—	315
計	106	5.4	221	11.2	1,204	61.0	400	20.3	42	2.1	1,973

表-5 部門別計画コース数と実施コース数

年 月 科 (部門)	1987年9月~1988年5月	
	計画コース数	実施コース数
指導員・監督者科		
(指導技法・長期)	2	1
(指導技法・短期)	21	9
(監督技法)	25	16
(教材開発)	6	6
自動車科	16	11
機械工作・金型科		
(金 型)	9	4
(機 械)	15	7
(鍛造・熱処理)	12	6
金属加工科		
(溶接・製缶)	12	8
(プレス)	10	1
重工業科		
(鑄造・鑄込み)	13	8
(ゴム成形)	5	2
(プラスチック成形)	6	4
電気・電子科		
(電 気)	13	11
(電 子)	8	4
計装・自動制御科	12	9
合 計	185	107

があまりよくない。

計画したコースが実施できない理由は、受講者が集まらなかったり、マレーシア労働省の計画変更等がある。

(5) 今後の訓練実施計画

1988年7月～1989年3月及び1989年4月～1990年3月までの部門別訓練計画コース数を表したものが表-6である。

表-6 1988年7月～1990年3月の計画コース数

年 月	1988年7月～1989年3月	1989年4月～1990年3月
科 (部門)	計画コース数	計画コース数
指導員・監督者科		
(指導技法・長期)	2	2
(指導技法・短期)	27	30
(監督技法)	24	27
(教材開発)	48	33
自動車科	13	36
機械工作・金型科		
(金 型)	6	11
(機 械)	14	23
(鍛造・熱処理)	11	13
金属加工科		
(溶接・製缶)	19	26
(プレス)	9	6
重工業科		
(鑄造・鑄込み)	15	14
(ゴム成形)	8	7
(プラスチック成形)	7	7
電気・電子科		
(電 気)	14	14
(電 子)	15	17
計装・自動制御科	14	24
合 計	246	290

これをみると各部門とも、いままでの年間実施コース数と比べ2倍ないしそれ以上の実施を計画していることがわかる。

### 3-3 ASEAN 域内訓練の実施

ASEAN 人造りプロジェクトは、単にそれが設置されている国のためだけのものではなく、広く他の ASEAN 諸国に開放され、その利用に供されるものとして設置されており、CIAST では1986年7月以来プロジェクト延長問題の一環として実施計画に取り組んでいる。

実施コースは開発されたモジュールの中から、次の基準によって選び出されている。

- ア. 新しい技術であること
- イ. 担当するカウンターパートに十分な能力があること
- ウ. マレーシア国内でも訓練需要が高いものであること

これに従って、

- 自動車部門 燃料噴射装置整備コース
- 電気制御部門 有接点回路の点検及び補修コース

の2コースについて1987年7月に実施することとしていたが、燃料噴射ポンプの設備整備に手間取り、1988年2月に実施している。

実施に当っては、技術交換計画に基づき1987年11月9日から同18日までタイ、フィリピン及びインドネシアを訪問し、本研修計画に対して各国関係機関の協力の約束を取り付け、更に11月中旬から12月初旬にかけて、ASEAN 域内研修と同内容でマレーシア人を対象にパイロットコースを開設するなど必要な準備をした上で実施している。

2コースの実施結果は次のとおりである。

#### ① 自動車部門コース

- ア. 教科内容 燃料噴射装置整備
- イ. 研修期間 1988年2月7日～3月5日 (28日間)
- ウ. 研修員数 12人
  - 国別内訳
  - タイ 4人
  - フィリピン 2人
  - インドネシア 3人
  - マレーシア 3人
- エ. 講師 3人 (技術者1人, 指導員2人)
- オ. 教材準備等 理論用テキスト, 実技用テキスト, 更にビデオ及びスライドを作成している。  
機材についても、ジーゼル機器試験作業台, 電気試験作業台を整備

し、工具についても特別工具を準備している。

カ. 評価 大部分の受講生から教科内容が適切で大変有益であったと評価されている。

反省点としては、やはり言葉の問題があり、今後はビデオ、スライドをもっと取入れること、講義時間より討議時間を多くすることなど。

次回への要望科目として、電子制御燃料噴射装置、電気・電子機器整備及びブレーキ系統整備があげられている。

## ② 電気制御部門コース

ア. 教科内容 有接点回路の点検及び補修

イ. 研修期間 1988年2月7日～3月5日 (28日間)

ウ. 研修員 12人

国別内訳	タイ	3人
	フィリピン	3人
	インドネシア	3人
	マレーシア	3人

エ. 講師 3人 (指導員2人, 実習助手1人)

オ. 教材準備等 パイロットコースでソフトウェア, 機材, 設備をチェックし, イラストや図表を含めた視聴覚教材を活用した方式を採用している。更に有接点制御回路分野に光電スイッチを導入している。

カ. 評価 実際の回路の設計, 製図と接続の訓練は大変有益であったと評価されている。特に光電スイッチの使用は好評であった。

反省点としては、やはり言葉の問題があり、また国によって標準規格が異なるなど、問題点も出ている。

次回への要望科目として、プログラマブルコントローラ (PC) と無接点制御回路があげられている。

1988年11月には、他の ASEAN 諸国の要望も配慮して、次のコースの開設を予定している。

- ① N. C. Machining Center (NC マシニングセンター)
- ② Feedback Control and Distributed Control System (帰還制御と分散制御システム)
- ③ Motor Automatic Control (電動機自動制御)
- ④ Electronic Fuel Injection System Services (電子燃料噴射システムサービス)

なお現地では1989年に、下記の8部門において、1コースずつ開設する計画をたてている。

- ① Audio Visual Aids (視聴覚教材)
- ② Welding (溶接)
- ③ N. C. Machining (NC マシニング)
- ④ Die Making (金型)
- ⑤ Instrument and Automatic Control (計装・自動制御)
- ⑥ Automotive (自動車)
- ⑦ Foundry (鋳造)
- ⑧ Electrical Control (電気制御)

### 3-4 専門家の派遣

#### (1) 長期専門家の派遣

1987年8月技術協力延長後の長期専門家の派遣については、前回の調査団が合意した下記内容に基づき、現在10名が派遣され、着実に成果をあげている。

今回の調査において、既に3-1、3-2及び3-3において述べたとおり、モジュールの再開発、訓練の実施、ASEAN 域内訓練等すべての事項について当初計画の線に沿ったプロジェクト実施の見込みがついたので、今後、協定期間終了までの間、前回の合意内容に基づき、長期専門家を派遣することについて、双方が確認した(表-7)。

表-7 専門家派遣計画

長期専門家	人数	派遣期間
	(名)	
チーフアドバイザー	1	1990年3月末まで
調整員	1	同上
(分野)		
自動車整備	1	1989年3月末まで
金型	1	1990年3月末まで
機械	1	1989年3月末まで
溶接・製缶	1	1990年3月末まで
鋳造・ダイキャスト	1	同上
電気	1	1989年3月末まで
計装・自動制御	1	同上
教材開発	1	1990年3月末まで

また、技術協力延長後(1987年8月20日以降)における長期専門家の派遣状況は、表-8のとおりである。

表-8 専門家派遣実績

氏名	分野	任期
上原 信博	チーフアドバイザー	1987年8月6日～1989年8月5日
小櫃 治郎	調整員	1987年5月18日～1989年5月17日
丸山 弘	教材開発	1986年5月21日～1990年3月31日
小倉 繁	自動車整備	1987年3月20日～1989年3月31日
福津 博次	金型	1988年3月23日～1990年3月31日
祁答院 忠義	機械	1987年3月20日～1989年3月31日
川島 徹	溶接・製缶	1988年3月23日～1990年3月31日
塩田 京仁朗	鋳造・ダイキャスト	1988年3月23日～1990年3月31日
岩崎 義一	電気	1987年3月20日～1989年3月31日
坪田 秀芳	計装・自動制御	1987年8月10日～1989年3月31日

(2) 短期専門家の派遣

期間延長された分野に関し、1988年の短期専門家の派遣状況は、下記のとおりである。

短期専門家派遣状況 (1988年)

機械保守 (油圧系) (赤羽根昇) 1988年6月21日～9月20日

機械保守 (電気系) (有吉正信) 1988年7月21日～9月20日

自動車整備 1名 1988年9月4日～12月5日

また、マレイシア側は、1989年については、前回調査での合意に基づき (金属加工1名) 派遣を要請する旨表明した。

3-5 カウンターパートの配置

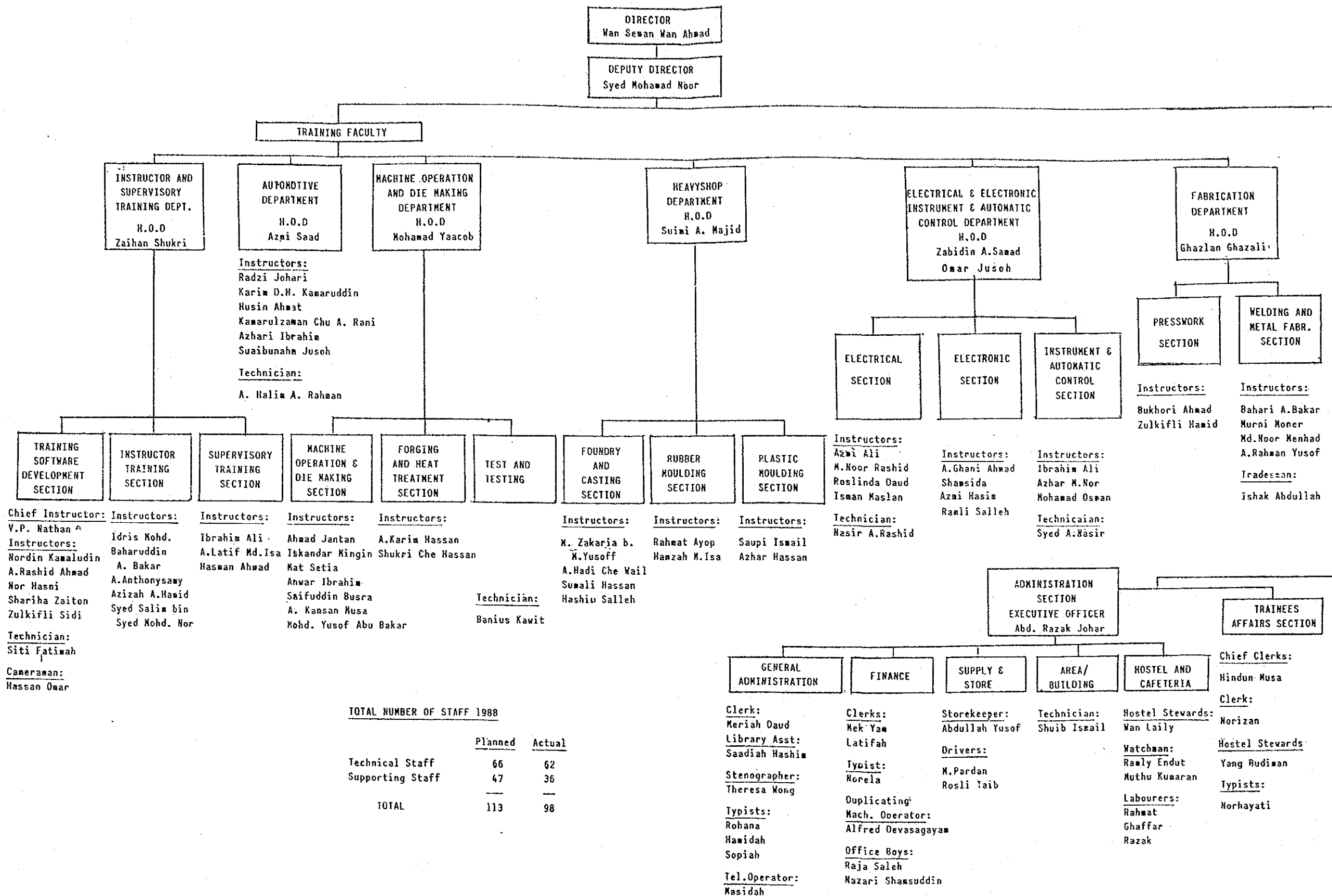
カウンターパートの数は、指導員62人、補助部門36人、計98人であり、1987年7月のそれと比べ指導員1人、補助部門1人の増となっている。

指導員の学歴別内訳をみると、大卒8人、ディプロマホルダー31人、高中卒23人であり、1987年7月以降1年の間に高中卒が2人減 (1人は定年退職、1人は転出) となった反面、大卒が2人、ディプロマホルダーが1人増員となっている。

モジュール再開発計画を協力期間中に完了するためには、更に自動車科に実務経験をもった、ディプロマホルダーを1人増員する必要があるという事情が明らかになった。合同委員会の場において、これを要望したところ、マレイシア側はできるだけ速やかに増員することを約束した。

カウンターパートの配置状況は、図-2のとおりである。なお、資料2に個別の学歴、職歴を掲げてある。





**TOTAL NUMBER OF STAFF 1988**

	Planned	Actual
Technical Staff	66	62
Supporting Staff	47	36
<b>TOTAL</b>	<b>113</b>	<b>98</b>





### 3-6 カウンターパートの受入研修

1988年のカウンターパートの日本での研修状況は、下記のとおりである。マレーシア側は、1988年に8名（個別研修4名、集団研修4名）のカウンターパートの日本研修を要請した。

本調査団は、個別研修については問題はないが、集団研修の場合、

- ① 対象者が実際に研修に参加できるかどうかは、マレーシア側が行う研修対象者の優先順位付け方に左右されるものであるが、これまでにマレーシア側の調整の結果に CIAST が入らなかったケースがあること。
- ② この点は、1986年の黒河内調査団が指摘し、カウンターパートの日本研修についてマレーシア側関係機関内部で調整を図ることを確認したこと。

の2点を指摘し、今後 CIAST プロジェクトに関するミニッツに基づいて割当てた集団コースへの枠については必ず CIAST のカウンターパートを推薦するようマレーシア側に強く要請した。

これに対し、マレーシア側は、人事院 (PSD) 及び経企庁 (EPU) の担当官の、その確保に努力する旨の発言を受けて、十分に関係機関と調整を図ることを表明した。

日本側は、マレーシア側の表明を評価し、1989年の要請については、持ち帰り検討することとした。

カウンターパートの日本での研修状況 (1988年)

個別研修	3名	実施中	1名…高級割当てで実施済
集団研修	4名	実施中	

### 3-7 機械、設備の使用と管理

日本から供与した機材（無償分および技協分）のうち主要なもの404点の使用管理状況について合同委員会に資料が提出された。それを要約すると、表-9のとおりである。

この表のうち、使用状況 C (未使用) とされたものは、22となっているが、モジュールの再開発に応じ順次使用する予定である。

また、管理・保管状況 C (修理等を要する) とされたものは、現在修理中である。

以上のとおり、供与機材の使用管理状況は、いままでのところおおむね良好である。

供与機材の管理については、相手方が、日本人専門家が去ったあともみずからの注意と費用負担によって実施する態勢をつくるのが強く望まれる。このような観点から、専門家チームはさる1987年7月、供与機材中外部の業者による定期的メンテナンスを必要とされるも

表一9 供与資機材の使用及び管理状況

デパートメント (科)	数量	使用状況			管理・保管状況		
		A	B	C	A	B	C
1) 指導員・監督者	76	44	22	10	61	10	5
2) 自動車科	22	21	1	0	22	0	0
3) 工作機械・金型科	77	65	13	0	77	0	0
4) 金属加工科	41	28	13	0	37	3	1
5) 重工業科	79	74	2	3	75	2	2
6) 電気・電子科	45	27	12	6	41	3	1
7) 計装・自動制御科	64	60	1	3	63	0	1
合 計	404	319	63	22	376	18	10

注：A, B, C, の表示は、次のとおり。

(使用状況)	(管理保管状況)
A 高い頻度にて使用	良好
B 時々使用	普通
C 未使用	修理等を要する

の17種を選び、それぞれの関係業者との間にメンテナンス契約を結ぶよう助言していた。

今回この点に関する調査の結果、相手方は上記17種中8種の機材について、1987年12月以降1年間のメンテナンス契約を結んでいることが明らかとなった(表一10, 資料3)。さらに相手方は合同委員会において、メンテナンス契約の対象機材をさらに拡げていく意向を示した。

これは、小さな端緒ではあるが、従来、機材の修理といえば日本人専門家と日本側に依頼するのみであった相手方についての注目すべき変化である。自助努力の新しい一歩として、今後の展開が期待される。

なお、CIASTの開講時よりの課題であった Language Laboratory の活用について、今回の合同委員会の会議において、カウンターパート派遣前の日本語研修及び指導員の英語のレベルアップのため近い将来、活用の運びとなる旨発言があった(資料4参照)。

### 3-8 マレーシア側のプロジェクト予算

調査の結果、専門家の出張、訓練機材の購入等プロジェクトの活動面で、予算上の支障はないことが判明した。表一11………開発予算、表一12………運営予算。

Jul. 17. 1988  
Wen Seman CIAST 所長より入手

表-10 MAINTENANCE CONTRACT

NAME OF EQUIPMENT	QUANTITY	MAINTENANCE PERIOD	MAINTENANCE FEE
<u>MACHINE OPERATION AND DIE MAKING DEPT.</u>			
1. CNC LATHE	1	1 YEAR	\$ 5,500.00 (Excluding the cost of spare parts and repairs)
2. CNC MILLING	1		
3. CNC EDM	1		
4. CNC WIRE CUT	1		
5. CNC MACHINING CENTRE	1		
6. AUTOMATIC COPY MILLING	1		
<u>HEAVYSHOP</u>			
1. RUBBER INJECTION M/C (Horizontal)	1		The local agent (NISSEI) will be attended, when requested by the Centre.
2. RUBBER INJECTION M/C (Vertical)	1		

表-11 開発予算

(単位: M\$)

項 目	1982年		1983年		1984年		1985年		1986年	1987年	1988年
	予算額	執行額	予算額	執行額	予算額	執行額	予算額	執行額	予算額	予算額	予算額
1. Implementation of technical Cooperation programme	122,761	142	30,000	16,654.48	123,530	132,589.11	322,340	241,132	390,000	190,000	0
2. Fees to consultants			100,000	-	-	-	-	-	-	-	
3. Bank Charges			30,000	-	9,000	17,810.00	18,000	-	-	-	
4. Land Cost			4,230,000	4,148,316.00	-	-	-	-	10,000	-	
5. External facilities			-	-	200,000	27,346.15	170,000	167,000	40,000	-	
6. Construction of building			-	8,323.00	200,000	-	-	-	-	-	
7. Equipment & Materials and furniture			-	-	218,000	169,164.92	275,000	436,200	50,000	20,000	0
8. Electricity Capital contribution			-	37,000.00	60,000	-	37,630	-	-	-	
9. Vehicles			-	-	108,000	109,052.00	40,000	-	-	-	
10. Others			-	-	-	-	-	-	-	-	
合 計	122,761	142	4,390,000	4,210,236.48	918,530	455,962.18	862,970	844,332	490,000	210,000	247,500

注: 1988年度開発予算の内訳は,

専門家の住居手当, 出張旅費, 交通費 (以下項目 1)

センターの家具, 書籍, 少機材購入費等 (以下項目 7)。

表一12 運當予算

項 目	1984年		1985年		1986		1986		1987		1988	
	予算額	執行額	予算額	執行額	予算額	執行額	予算額	執行額	予算額	執行額	予算額	執行額
1100 — salaries and wages	619,200.00	203,165.57	858,900.00	745,132.20	1,178,700.00	852,058.24	1,178,700.00	852,058.24	861,172.83	1,194,500.00	852,058.24	861,172.83
1200 — Fixed allowances	44,000.00	19,777.98	81,800.00	74,800.70	99,200.00	73,752.83	99,200.00	73,752.83	72,286.49	102,500.00	73,752.83	72,286.49
1300 — Additional personal costs	34,400.00	13,049.00	75,000.00	43,198.00	83,700.00	46,072.00	83,700.00	46,072.00	46,272.00	86,800.00	46,072.00	46,272.00
1400 — Over-time allowances	3,600.00	583.03	16,200.00	5,746.09	16,200.00	8,969.00	16,200.00	8,969.00	5,361.95	6,000.00	8,969.00	5,361.95
1500 — Other financial benefit	300.00	90.00	300.00	40.00	600.00	40.00	600.00	40.00	20.00	500.00	40.00	20.00
2100 — Transportation of persons and expence on subsistence	12,000.00	11,866.28	20,000.00	10,993.52	69,000.00	30,173.52	69,000.00	30,173.52	23,449.80	38,100.00	30,173.52	23,449.80
2200 — Transportation of things	6,800.00	3,080.00	8,400.00	1,572.05	3,000.00	3,823.00	3,000.00	3,823.00	-	2,000.00	3,823.00	-
2300 — Communication and utility	9,900.00	1,260.95	15,000.00	13,358.88	10,000.00	162,781.82	10,000.00	162,781.82	157,201.77	153,300.00	162,781.82	157,201.77
2400 — Rental	72,000.00	65,573.00	141,000.00	126,895.81	160,000.00	1,072.00	160,000.00	1,072.00	1,677.09	3,666.00	1,072.00	1,677.09
2500 — Food and Drink	500.00	127.00	2,700.00	1,080.00	3,500.00	-	3,500.00	-	-	-	-	-
2600 — Raw Material and Maintenance	5,000.00	2,990.40	20,900.00	16,691.02	10,000.00	252,456.49	10,000.00	252,456.49	186,121.38	250,500.00	252,456.49	186,121.38
2700 — Supplies and others	65,008.00	46,919.09	270,000.00	236,541.63	300,000.00	51,500.00	300,000.00	51,500.00	90,500.62	51,500.00	51,500.00	90,500.62
2800 — Minor service and maintenance	25,000.00	18,562.45	52,100.00	51,589.40	70,000.00	76,390.83	70,000.00	76,390.83	71,912.17	66,200.00	76,390.83	71,912.17
2900 — Professional Services and hospitality	8,000.00	5,769.81	23,000.00	16,237.55	23,000.00	24,817.75	23,000.00	24,817.75	39,341.80	28,600.00	24,817.75	39,341.80
3200 — Buildings and Repair	-	-	-	-	-	-	-	-	19,590.00	5,000.00	-	19,590.00
3300 — Buildings Facilities	2,000.00	-	4,000.00	2,203.00	10,000.00	-	10,000.00	-	-	-	-	-
3500 — Other asset	-	-	-	-	-	9,360.00	-	9,360.00	4,989.00	2,000.00	-	4,989.00
合 計	907,700.00	403,645.87	1,589,300.00	1,370,653.94	2,036,900.00	1,555,397.49	2,036,900.00	1,555,397.49	1,579,866.80	1,990,500.00	1,555,397.49	1,579,866.80

#### 4. 技術協力終了後のフォローアップ等

##### (1) フォローアップ

マレーシア側から、延長期間終了後の本計画に対するフォローアップとして、チーフアドバイザー及び長・短期専門家の派遣、カウンターパートの日本研修の継続についての要請がなされた。日本側は、本プロジェクトはASEAN人造り計画の一環として実施されており、協定終了後は、プロジェクト延長に類する協力を続けることは不可能である旨回答し、マレーシア側は了解した。

さらに、マレーシア側は、既に延長打ちりの分野及び1990年3月までに終了する分野のうち、7分野について、短期専門家の派遣を下記表-13のとおり要請した。

表-13 フォローアップのための短期専門家派遣希望

分野	人数	派遣希望
指導者訓練（訓練管理）	1名	1989年 1月～ 3月
電気制御	1	1989年 4月～ 9月
指導技法訓練（作業安全）	1	1989年 6月～ 8月
プラスチック	1	1989年 8月～10月
自動車	1	1989年10月～1990年 3月
指導技法訓練（産業工学）	1	1990年 6月～ 8月
ゴム	1	1990年 9月～11月

内容を吟味したところ、モジュール開発が終了したものであっても、マレーシア国産業界の技術革新に対応して、さらに新たな展開を期するために、専門家の指導が必要と認められる分野と史料されたので、日本側としては、持ち帰って関係者に検討を依頼する旨表明した。

また、1990年3月終了予定の4分野のフォローアップのための短期専門家の派遣に関しては、必要ならば、来年調査の際検討する事項であることを双方が確認した。

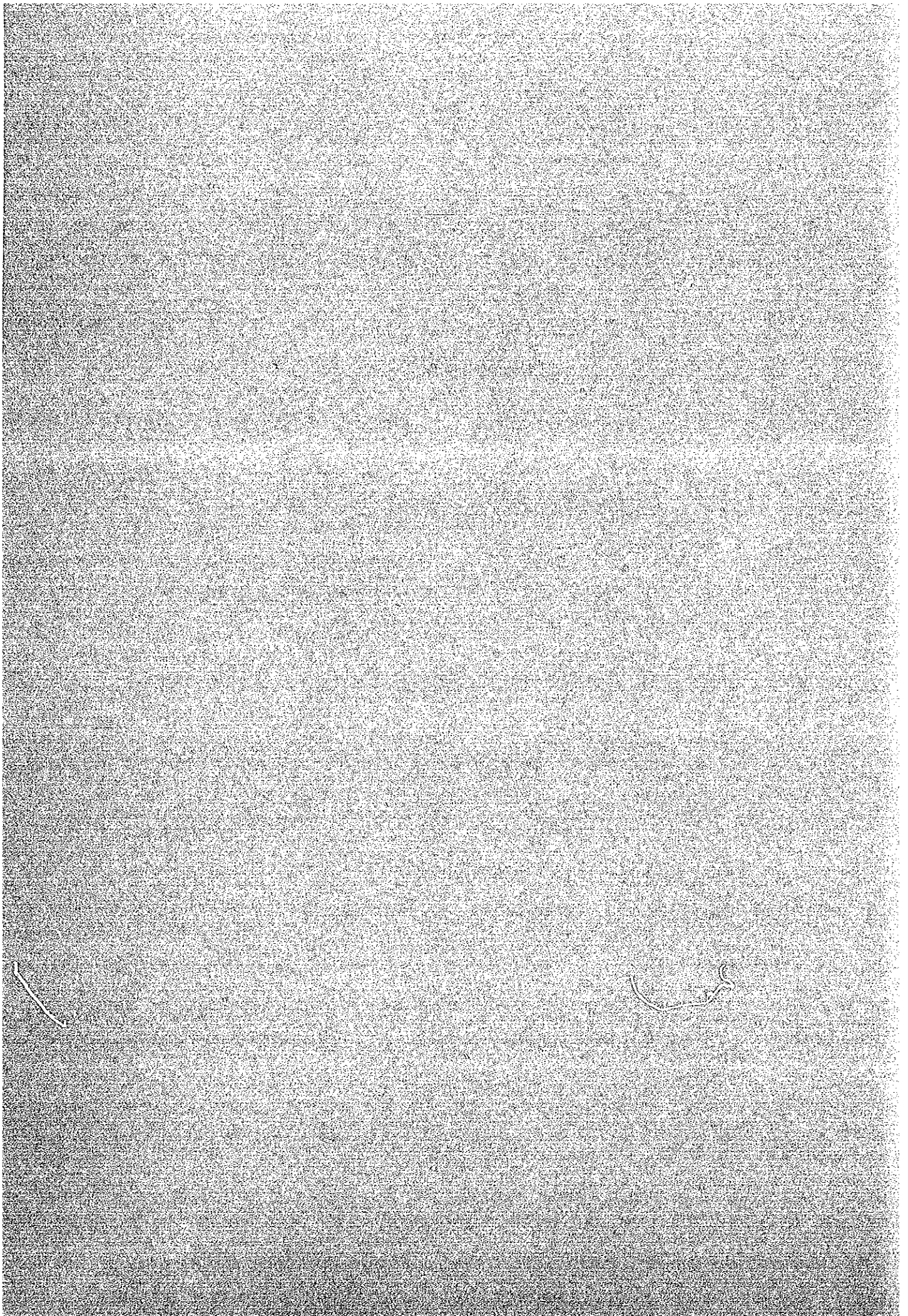
##### (2) 新プロジェクト構想

総括に述べられているとおり。

## 資 料

- 1 Minutes of Discussions
- 2 List of Counterparts
- 3 Maintenance Contract
- 4 Proposal for the Utilization of CIAST's Language  
Laboratory
- 5 Follow-up Technical Cooperation





資料 1

MINUTES OF DISCUSSIONS BETWEEN THE JAPANESE MUTUAL CONSULTATION TEAM AND THE AUTHORITIES CONCERNED OF THE GOVERNMENT OF MALAYSIA ON THE JAPANESE TECHNICAL COOPERATION FOR THE CENTRE FOR INSTRUCTOR AND ADVANCED SKILL TRAINING PROJECT

The Japanese Mutual Consultation Team (hereinafter referred to as "the Team") organized by the Japan International Cooperation Agency, and headed by Mr. Shohei Kasahara, visited Malaysia from 6 to 15 July 1988, and had a series of discussions with the Malaysian Authorities concerned (hereinafter referred to as "the Malaysian side") on the implementation of the Japanese Technical Cooperation for the Centre for Instructor and Advanced Skill Training Project in Malaysia (hereinafter referred to as "the Project").

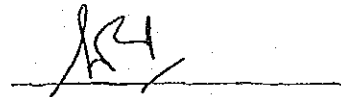
Members who participated in the discussion are listed in Annex I.

As a result of the discussions, the Team and the Malaysian side agreed to recommend to their respective Governments the matters referred to in the document attached hereto.



SHOHEI KASAHARA

LEADER  
JAPANESE MUTUAL CONSULTATION TEAM  
JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION  
AGENCY



LIM BOH ANG

FOR SECRETARY GENERAL  
MINISTRY OF LABOUR  
MALAYSIA

JULY 12, 1988

KUALA LUMPUR, MALAYSIA

I REVIEW AND PLAN OF CIAST ACTIVITIES

- (1) Modules redevelopment, training courses and their participants.

Both sides noted the smooth progress of the Project especially the increase in the number of:

- (a) redeveloped modules,
- (b) training courses, and
- (c) participants

since the previous Joint Committee Meeting held in July, 1987 and agreed to make the utmost effort to facilitate the implementation of the Project during the remaining period in accordance with the Training Schedule in Annex II.

- (2) Counterpart Personnel

The Team noted that one module in the Automotive Department would not be completed timely unless the necessary counterpart is assigned by the end of November 1988. The Malaysian side agreed to take the necessary action on this matter as soon as possible.

- (3) Counterpart Training in Japan

The Team reminded the Malaysian side on the minutes of discussion dated November 22, 1986

SK

101  
1/2

wherein it was stated that consideration should be given to the use of places in the Group Training Courses for CIAST personnel. The Team expressed that there is the need to ensure that CIAST personnel be included in the Group Training Courses.

The Malaysian side made a request to the Team for the training of 8 counterpart personnel, 4 in Individual Training and 4 in Group Training Courses for 1989 fiscal year. (Annex III).

(4) Maintenance of Equipment

The Team suggested that it is necessary for maintenance contracts to be concluded with the relevant agents or suppliers in respect of some sophisticated machines, particularly at this stage of technical cooperation. The Malaysian side informed that the necessary maintenance contract on CNC machines had been concluded and more efforts would be made to conclude maintenance contracts deemed necessary for other sophisticated machines.

SK

12  
MT

II. ASEAN REGIONAL TRAINING

2 courses in the Automotive and Electrical fields were successfully conducted from February to March 1988.

The Malaysian side proposed a plan to conduct 4 more courses in November 1988 and 8 more courses for the fiscal year 1989.

The Team agreed to the courses planned for 1988, and stated that further discussion would be held for the courses planned for fiscal year 1989.

III. OTHERS

Language Laboratory

Referring to the minutes of discussion dated July 15, 1987, the Team requested clarification on the Malaysian plan to utilise the language laboratory. The Malaysian side indicated that efforts are being made to utilise the facilities as fully as possible in the near future.

SR

10  
M-1

IV. FOLLOW-UP OF TECHNICAL COOPERATION

The Malaysian side requested that for purpose of the follow-up of the technical cooperation for the Project, long and short term experts in several fields be despatched. The Malaysian side also requested the continuation of counterpart training and the extension of the services of the Adviser.

The Team agreed to convey the Malaysian request for short term experts as per details below:

<u>Area of Specialization</u>	<u>Number Of Expert</u>	<u>Tentative Period</u>
Instructor Training	1	Jan '89 - Mar '89
Electrical Control	1	Apr '89 - Sept '89
Supervisory Skill Training (Industrial Safety)	1	Jun '89 - Aug '89
Plastic	1	Aug '89 - Oct '89
Automotive	1	Oct '89 - Mar '90
Supervisory Skill Training (Industrial Engineering)	1	Jun '90 - Aug '90
Rubber	1	Sept '90 - Nov '90

PP

12  
M7

LIST OF PARTICIPANTSJAPANESE SIDE

- |     |                    |   |  |
|-----|--------------------|---|--|
| 1.  | Shohei Kasahara    | - | Internal Auditor,<br>Employment Promotion<br>Corporation (EPC)   |
| 2.  | Setsuko Haruki     | - | Deputy Director,<br>Planning Division,<br>Human Resources Development<br>Bureau, Ministry of Labour  |
| 3.  | Hidetoshi Fukumura | - | Manager of Clerical and<br>Services,<br>Training Research Unit,<br>Research and Development<br>Institute of Vocational<br>Training,<br>Employment Promotion<br>Corporation (EPC) |
| 4.  | Fukuo Sasaki       | - | Deputy Head,<br>Overseas Centers Division,<br>Social Development Cooperation<br>Department,<br>Japan International Cooperation<br>Agency   |
| 5.  | Shigeshi Mimura    | - | First Secretary,<br>Embassy of Japan   |
| 6.  | Takao Matsuzaki    | - | Resident Representative,<br>JICA Malaysia Office   |
| 7.  | Nobuhiro Uehara    | - | CIAST Chief Adviser  |
| 8.  | Jiro Obitsu        | - | CIAST Coordinator  |
| 9.  | Hiroshi Maruyama   | - | CIAST Expert   |
| 10. | Hideyoshi Tsubota  | - | CIAST Expert   |
| 11. | Toru Kawashima     | - | CIAST Expert   |
| 12. | Kyojiro Shiota     | - | CIAST Expert   |
| 13. | Shigeru Ogura      | - | CIAST Expert   |
| 14. | Yoshikazu Iwasaki  | - | CIAST Expert   |
| 15. | Hirotsugu Fukutsu  | - | CIAST Expert   |

PR

121  
121

MALAYSIAN SIDE

1. Lim Boh Ang - Deputy Secretary General,  
Ministry of Labour
2. Haji Alias Sulaiman - Director General,  
Manpower Department
3. Wan Seman Wan Ahmad - Director,  
CIAST
4. Wan Norma Daud - Assistant Director,  
Economic Planning Unit,  
Prime Minister's Department
5. Shaharuddin Mat Ajil - Assistant Director,  
Economic Planning Unit,  
Prime Minister's Department
6. Abas Abd. Rahman - Principal Assistant Director,  
Public Services Department
7. Than Tai Hing - Assistant Secretary  
(ASEAN Division),  
Ministry of Foreign Affairs
8. Teddy Lian Kok Fei - Principal Assistant Secretary,  
Ministry of Labour
9. Azizah Haji Mohamad - Assistant Secretary,  
Ministry of Labour
10. Zaihan Shukri - Head of Department,  
CIAST
11. Zabidin Abd. Samad - Head of Department,  
CIAST
12. Ghazlan Ghazali - Head of Department,  
CIAST
13. Abd. Rashid Ahmad - Head of Training Affairs  
Division,  
CIAST



TRAINING SCHEDULE  
 JUNE, 1988 TO MARCH, 1990

MODULE / SUB-MODULE	MONTHS											
	JUN 88	JUL 88	AUG 88	SEP 88	OCT 88	NOV 88	DEC 88	JAN 89	FEB 89	MAR 89	APR 89	MAY 89
TH.1 INSTRUCTOR TRAINING												
TH.2 BASIC TRAINING METHODOLOGY												
TH.3 SKILL ANALYSIS												
TH.6 TEST AND TESTING METHOD												
TH.7 TRAINING ADMINISTRATION												
TH.8 BASIC INSTRUCTIONAL TECHNIQUES FOR INFLUENT INSTRUCTORS												
TH.9 BASIC INSTRUCTIONAL TECHNIQUES FOR INFLUENT SUPERVISORS												
TH.10 MODULE TRAINING SYSTEM DESIGN												
G.P. TRAINING												
SHORT TERM EXPERT												

NS : MAH SEHAN BIN WAN AHMAD  
 Z : ZAIWAN BIN SIDIKRI  
 N : V.P. NATHAN  
 SM : SYED MOHAMMAD MOOR  
 AS : AZMI BIN SAAD  
 O : OMAR BIN JUSOH  
 R : ABD. RASHID BIN SUWAYD  
 I : LORIC BIN MOHAMMAD  
 A : ANTONYVANSKY  
 ZS : AZIZAN BT. A.HAMID  
 SW : SAYED RALIM  
 H : HAFSUDIN BIN HAFSAR  
 \*\*\*\*\* HIGH ASSISTANT UNDER STUDY  
 ----- REVIEW/PEDAGOG  
 BIRKEN TRAINING UNDER S.T.S  
 \* SPECIAL COURSE CONDUCTED FOR INNOVATIVE PERSONNEL.  
 N.T. SPECIAL TRAINING

DEPARTMENT : INSTRUCTOR AND SUPERVISORY

SECTION : SUPERVISORY

TRAINING SCHEDULE

JUNE, 1988 TO MARCH, 1990

MODULE / SUB-MODULE	MONTHS											
	JUN 88	JUL 88	AUG 88	SEP 88	OCT 88	NOV 88	DEC 88	JAN 89	FEB 89	MAR 89	APR 89	MAY 89
ST.1 METHOD AND WORK STUDY												
ST.2 QUALITY CONTROL												
ST.3 PRODUCTION PLANNING AND CONTROL												
ST.4 MAINTENANCE MANAGEMENT												
ST.5 INDUSTRIAL SAFETY												
ST.6 LEADERSHIP AND HUMAN RELATION												
ST.7 DISCIPLINE IN INDUSTRY												

Course managers:

- I - Ibrahim bin Ali
- Z - Zaidan bin Shatri
- L - Abd. Latiff bin Mat Isa
- S - Sulmi bin Abu, Masjud
- H - Hassan bin Ahmad
- C - Chazan bin Chabali
- Zn - Zaidin bin Abu, Samad
- M - Mohamed bin Yusoff

Course assistant:

- \*\*\*\*\* Assistant under study
- xxxxxxx Amin Ahmad Aids Development
- B. T. Regional Training

DEPARTMENT : INSTRUCTOR AND SUPERVISORY DEPARTMENT  
 SECTION : SOFTWARE DEVELOPMENT  
 TRAINING SCHEDULES  
 JUNE, 1988 TO MARCH, 1990

MODULE / SUB-MODULE	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12												1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12											
	JUN	JUL	AUG	SEP	OCT	NOV	DEC	JAN	FEB	MAR	APR	MAY	JUN	JUL	AUG	SEP	OCT	NOV	DEC	JAN	FEB	MAR		
ASSISTING OTHER DEPARTMENTS IN A.V.A.																								
INSTRUCTOR & SUPERVISORY																								
AUTOMOTIVE																								
RE / TAC																								
REANYSIOP																								
MACHINE OPERATION & DIE MAKING																								
FABRICATION																								
TM 4 WRITTEN INSTRUC-TORIAL MATERIALS																								
TM 5 AUDIO VISUAL AIDS																								
ASEAN REGIONAL TRAINING WRITTEN INSTRUCTIONAL MATERIAL & AUDIO VISUAL AIDS																								
C.P. TRAINING																								
REMARKS	NO : MORDIN BIN KAWALODIN R.Y : REGIONAL TRAINING NH : NORNASHI SZ : SHARINA ZAITUN ZI : ZULAIPTI SIDI TULIFEI (JAPAN) SHARINA ZAITUN (JAPAN) KRAMASHI (JAPAN)																							

DEPARTMENT : AUTOMOTIVE

TRAINING SCHEDULE

JUNE, 1989 TO MARCH, 1990

SECTION :

MODULE / SUB-MODULE	1989												1990											
	JUN	JUL	AUG	SEP	OCT	NOV	DEC	JAN	FEB	MAR	APR	MAY	JUN	JUL	AUG	SEP	OCT	NOV	DEC	JAN	FEB	MAR		
A1A(87).1. SPECIALIZED DIESEL ENGINE SERVICES																								
A1A(87).2. ELECTRONIC INJECTION ENGINE SERVICES																								
A1B(87).1. SPECIALIZED DIESEL ENGINE SERVICES																								
A1B(87).2. FUEL INJECTION SYSTEM SERVICES																								
A1C(87).1. FUNDAMENTAL AUTO ELECTRONICS																								
A1C(87).2. ENGINE ELECTRICAL ELECTRONIC EQUIPMENT SERVICES																								
A1C(87).3. CHASSIS ELECTRICAL ELECTRONIC SERVICES																								
A2.1. ENGINE TROUBLE ANALYSIS																								
A2.2. CHASSIS TROUBLE ANALYSIS																								
A3.1. ENGINE PERFORMANCE TEST																								
A3.2. CHASSIS PERFORMANCE TEST																								
ASEAN REGIONAL TRAINING																								
A1A.2. ELECTRONIC INJECTION ENGINE SERVICES																								
CP TRAINING																								
ST EXCURSION																								

W : RAZI BIN HJ. JOHARI  
 WA : KARTH BIN DATO' KARABOOTER  
 K : KAMARUZAMANI  
 H : HUSEIN BIN AHMAD  
 A : AZHARI  
 SA : SOAIBUDDIN JUSON

AS : AZMI SAAD  
 MA : EXPERIENCE DIPLOMA HOLDER  
 MB : EXPERIENCE INSTRUCTOR (RETIACMENT FOR MR. MURAZAR)  
 S : STED NORRANNO HERR

----- SOFTWARE DEVELOPMENT

DEPARTMENT : AUTOMOTIVE

TRAINING SCHEDULE

JULIE, 1988 TO MARCH, 1990

SECTION :

MODULE / SMT MODULE	1 9 8 8												1 9 8 9												1 9 9 0											
	JAN	FEB	MAR	APR	MAY	JUN	JUL	AUG	SEP	OCT	NOV	DEC	JAN	FEB	MAR	APR	MAY	JUN	JUL	AUG	SEP	OCT	NOV	DEC	JAN	FEB	MAR	APR	MAY	JUN	JUL	AUG	SEP	OCT	NOV	DEC
M4(87).1 STEERING SYSTEMS AND WHEEL ALIGNMENT																																				
M4(87).2 AUTOMATIC TRANSMISSION SERVICES																																				
M4(87).3 BRAKE SYSTEM SERVICES																																				
M6.1 VEHICLE REGULAR CHECKING																																				
M6.2 VEHICLE INSPECTION																																				
M5.1 VEHICLE BODY PARTS REPAIR																																				
M5.2 VEHICLE FRANK REPAIR																																				
M5.3 VEHICLE BODY PARTS PAINTING																																				
AREA REGIONAL TRAINING																																				
M4(87).2 AUTOMATIC TRANSMISSION SERVICES																																				
CP TRAINING																																				
ST EXPERT																																				

R : RAZI BIN HJ. JOWARI AS : AZMI SHAH  
 KA : KARIM B. DATO HJ. KAHARUDJIN ME.A : EXPERIENCE DIPLOMA HOLDER  
 K : KINORUZAMAN MF.A : EXPERIENCE INSTRUCTOR  
 H : MUSTIN B. AHMAT (REPLACEMENT FOR MR. MOKHARR)  
 AZ : AZHARI S : SYED MORHANO NOOR  
 SK : SUKIRMANIA JUSOH P.T : REGIONAL TRAINING

DEPARTMENT : HEAVY2802

SECTION : FOUNDRY AND CASTING

TRAINING SCHEDULE

JUNE, 1989 TO MARCH, 1990

MODULE / SUB-MODULE	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12												1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12											
	JUN	JUL	AUG	SEP	OCT	NOV	DEC	JAN	FEB	MAR	APR	MAY	JUN	JUL	AUG	SEP	OCT	NOV	DEC	JAN	FEB	MAR		
N2 : FOUNDRY																								
N2.1: GATING AND RISERING																								
N2.2: SAND GATING AND RISERING																								
N2.3: CORES																								
N2.4: COPING MELTING																								
N2.5: ANALYSIS OF CASTING DEFECTS																								
N3 : DIE CASTING																								
N3.1: DIE CASTING TECHNIQUE																								
N3.2: ADVANCED DIE CASTING TECHNIQUE																								
N4 : INVESTMENT CASTING																								
N4.1: INVESTMENT CASTING TECHNIQUE																								
N4.2: INVESTMENT CASTING TECHNIQUE																								
NEAR REGIONAL TRAINING																								
REGIONAL TRAINING																								

SI : SUINI  
 Z : ZAKARIA  
 S : SUDHANA  
 W : WASHIK  
 TA : TANI

XXXXXXX : DEVELOPMENT OF NOVO VISUAL AIDS  
 R.T : REGIONAL TRAINING ON POWDERY AND CASTING

DEPARTMENT : HEAVYSHOP

TRAINING SCHEDULE

JUNE, 1968 TO MARCH, 1969

SECTION : RUBBER AND PLASTIC

NOBLE / SUB-MODULE	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12												1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12											
	JUN	JUL	AUG	SEP	OCT	NOV	DEC	JAN	FEB	MAR	APR	MAY	JUN	JUL	AUG	SEP	OCT	NOV	DEC	JAN	FEB	MAR		
MS : RUBBER MOLDING																								
MS.1 Rubber Moulding Process and Products																								
MS.2 Rubber Materials and Mixing Technique																								
MS.3 Rubber Moulding (Injection Type)																								
Rubber Regional Short Course																								
MP : PLASTIC MOLDING																								
MP.1 Plastic Injection Moulding Machine and Mould																								
MP.2 Plastic Materials and Injection Moulding process																								
Plastic Regional Short Course																								
Assisting Ole Molding Course																								

XXXXXXXX : DEPARTMENT OF AUDIO VISUAL

ATDC

R.T : REGIONAL TRAINING

K : HANZAR BIN MO ISA

R : RAHMAT BIN ATOP

S : GUS SAUPE BIN ISMAIL

A : AZHAR BIN HASGAN

2000000

DEPARTMENT : MACHINE OPERATION AND DIE MAKING  
 SECTION : MACHINE OPERATION

TRADE'S SOURCE  
 JUN, 1988 TO MARCH, 1990

MODULE / SUB-MODULE	MONTHS											
	JUN 88	JUL 88	AUG 88	SEP 88	OCT 88	NOV 88	DEC 88	JAN 89	FEB 89	MAR 89	APR 89	MAY 89
MOD.1 SURFACE CYLINDRICAL AND CONELESS GRINDING												
MOD.2 FOUR AND OPTICAL PROJECTION PROFILE GRINDING												
MOD.3 TOOL AND CUTTER GRINDING												
MOD.1 MC TORQUE												
MOD.2 MC MACHINING CENTRE												
MOD.1 MC WIRE CUTTING												
MOD.2 MC EDM												
MOD.3 AUTOMATIC COPY MILLING												
MOD.1 MECHANICAL MAINT.												
MOD.2 ELECTRICAL MAINTENANCE												
MOD.1 HYDRAULIC MAINTENANCE												
ESSE REGIONAL TRAINING												
MOD.1 MC MACHINING CENTRE												
MOD.1 MC WIRECUTTING												
C.P TRAINING												
ST. EMPLOY												

INFO : MOHAMMAD YAKOUB  
 AJ : AHMAD JAMEIN  
 M : HAT SETIA  
 S : SAIFUDDIN  
 Y : YUSOF  
 A : ANWAR  
 AA : AZMI ALA (EE STAFF)

IS : ISHAM (EE STAFF)  
 JB : IMRAN ALI (IAC STAFF)  
 Z : ZARIDIN  
 I : ISKANDAR  
 NP : AHMAD DAMAN

DEVELOPMENT OF AUDIO VISUAL AIDS  
 REGIONAL TRAINING ON CNC MACHINING



DEPARTMENT : MACHINE OPERATION AND DIE MAKING

TRAINING SCHEDULE

JUNE, 1968 TO MARCH, 1970

SECTION : DIE MAKING

MODULE / SUB-MODULE	MONTHS											
	JUN 68	JUL 68	AUG 68	SEP 68	OCT 68	NOV 68	DEC 68	JAN 69	FEB 69	MAR 69	APR 69	MAY 69
MD1A.1 SHEARING DIE MAKING I												
MD1A.2 SCORING DIE MAKING II												
MD1B.1 DRAWING DIE MAKING I												
MD1B.2 DRAWING DIE MAKING II												
MD1C.1 PLASTIC MOULD MAKING I												
MD1C.2 PLASTIC MOULD MAKING II												
MD1D.1 SPLIT TYPY PLASTIC MOULD MAKING I												
MD1D.2 SPLIT TYPY PLASTIC MOULD MAKING II												
MD1E.1 PROGRESSIVE DIE MAKING I												
MD1E.2 PROGRESSIVE DIE MAKING II												
MD2.1 TOOL & JIG MAKING AND REPAIR I												
MD2.2 TOOL & JIG MAKING AND REPAIR II												
CF TRAINING												
UGRAM REGIONAL TRAINING												
HDIC PLASTIC TOOLS MAKING												

MD0 : MOHAMMAD YAKOOB	XXXXXXXXX : DEVELOPMENT OF AUDIO VISUAL AIDS
AJ : AHMAD JANJAN	R.T. : PRACTICAL TRAINING ON DIE AND MOULD MAKING TECHNIQUE
Y : YUSOF	
S : SAIYUDDIN	
A : ANWAR	
I : ISKANDAR HIRIEN	
KH : KAMSAN	

DEPARTMENT : MACHINE OPERATION AND DIE MAKING  
SECTION : FORGING AND HEAT TREATMENT

TRAINING SCHEDULE  
JUNE, 1988 TO MARCH, 1990

NO.	MODULE / SUB-MODULE	1988												1989															
		JUN	JUL	AUG	SEP	OCT	NOV	DEC	JAN	FEB	MAR	APR	MAY	JUN	JUL	AUG	SEP	OCT	NOV	DEC	JAN	FEB	MAR						
1	MIA.1 HEAT TREATMENT PROCESS																												
2	MIA.2 ADVANCED HEAT TREATMENT																												
3	MIB.1 FORGING PROCESS																												
4	MIB.2 TESTING FOR FORGING																												
5	MDIA.2 SHEARING DIE MAKING II																												
6	MDIB.2 DRAWING DIE MAKING II																												
7	MDIC.2 ELASTIC MOUND MAKING II																												
8	MDD.2 SPELT TYPE PLASTIC MOUND MAKING II																												
9	MDIX.2 PROGRESSIVE DIE MAKING II																												
10	MUD.2 TOOL & JIG MAKING & REPAIR II																												

K : KARIH HASSAN  
SH : SHUKRI  
R.T : REGIONAL TRAINING ON HEAT TREATMENT  
RPTX : DEVELOPMENT OF AUDIO VISUAL AIDS

DEPARTMENT : FABRICATION  
 SECTION :

TRAINING SCHEDULE  
 JUNE, 1988 TO MARCH, 1990

MODULE / SUB-MODULE	1 9 8 8												1 9 8 9			1 9 9 0							
	JUN	JUL	AUG	SEP	OCT	NOV	DEC	JAN	FEB	MAR	APR	MAY	JUN	JUL	AUG	SEP	OCT	NOV	DEC	JAN	FEB	MAR	
F1A WELDING																							
F1A.1 CO <sub>2</sub> AND MIG ARC WELDING																							
F1A.1 MANUAL ARC WELDING																							
F1A.3 TIG ARC WELDING																							
F1B NONDESTRUCTIVE TESTING																							
F1B.1 X-RAY TESTING																							
F1B.2 ULTRASONIC TESTING																							
F1B.3 MAGNETIC PARTICLE & PENETRANT TESTING																							
F2 METAL FABRICATION																							
F2.1 BASIC METAL FABRICATION																							
F2.2 ADVANCED METAL FABRICATION																							
F3 PRESS WORK																							
F3.1 BENDING WORK																							
F3.2 SHEARING WORK																							
F3.3 DRAWING WORK																							
F3.4 INSPECTION AND MAINTENANCE OF PRESS MACHINE.																							
ASSIST DIE MAKING																							
ASEAN REGIONAL TRAINING																							
C.P. TRAINING																							
ST. EXERCISE																							
REMARKS	G : CHAZLAN BIN CHAZALI (MO) : ASSIST DIE MAKING B : BAHARI BIN ABD BAKOR : MCR CHARGER 2 C : NORRI BIN MORRI : DEVELOPMENT OF AUDIO VISUAL AIDS N : NORD. SUKORRI AHMAD : R.T : REGIONAL TRAINING ON PRESS WORK R : ABD. RAHMAN YUSUF Z : ZULKIFLI HANID																						

DEPARTMENT : PE / IAC  
 SECTION : ELECTRICAL

TRAINING CIRCUITS  
 JUNE, 1983 TO MARCH, 1990

MODULE / SUB-MODULE	MONTHS												REMARKS	
	JUN	JUL	AUG	SEP	OCT	NOV	DEC	JAN	FEB	MAR	APR	MAY		
EC1A RELAY BALANCE AND REPAIR														
EC1A.1 CONTACT CIRCUIT RELAY MAINTENANCE AND REPAIR														
EC1A.2 NON-ARCING CIRCUIT RELAY MAINTENANCE AND REPAIR														
EC1B INDUSTRIAL WIRING & DISTRIBUTION PANEL WORKS														
EC1B.1 INDUSTRIAL WIRING														
EC1B.2 DISTRIBUTION PANEL WORKS														
EC2 MOTOR TROUBLE ANALYSIS														
EC2.1 MOTOR TROUBLE ANALYSIS AND REPAIR														
EC2.2 TRANSFORMER TROUBLE ANALYSIS AND REPAIR														
EC3 MOTOR TEST AND CONSTRUCTION														
EC3.1 MOTOR GENERATOR CONTROL TESTING														
EC3.2 MOTOR AUTOMATIC CONTROL														
EC3.3 MICRO COMPUTER SYSTEM AND LANGUAGE														
MO6.2 MACHINE MAINTENANCE ELECTRICAL														
ASIAN REGIONAL TRAINING														
EC3.2 MOTOR AUTOMATIC CONTROL														
COMBIPART TRAINING														
S.T. CERT														

MO6.2 (A.A.1)  
 AA : REPAIR  
 BR : IJ, IND, INOR  
 T : ISMAN  
 G : GMIT BRHAD  
 A : ISMAN TO GO TO JAPAN FROM FEB 89 - OCT 89  
 B : POSITION TO GO TO JAPAN FROM APRIL 89 - MARCH 90  
 ST REGIONAL TRAINING  
 DEVELOPMENT IN AUDIO VISUAL AIDS.

**TRAINING SCHEDULE**  
 JUNE, 1988 TO MARCH, 1990

DEPARTMENT : CE/IAC  
 SECTION : ELECTRONIC

	1988			1989			1990		
	JUN	JUL	AUG	SEP	OCT	NOV	DEC	JAN	FEB
MOBILE / SUB-MODULE									
EE7A COMPUTER SOFTWARE									
EE7A.1 DISK OPERATING SYSTEM									
EE7A.2 ASSEMBLY LANGUAGE									
EE7A.3 FORTRAN									
EE7A.4 BASIC LANGUAGE									
EE7B COMPUTER HARDWARE									
EE7B.1 ELECTRICAL/ELECTRONIC DEVICE TESTING									
EE7B.2 MICRO-COMPUTER SYSTEM ANALYSIS									
EE7B.3 ADVANCED RADIO SERVICE & REPAIR									
EE7B.4 ADVANCED TV SERVICE & REPAIR									
EE7B.5 INTER-OFFICE COMMUNICATION EQUIPMENT SERVICE AND REPAIR									
CT TRAINING									

G : GHANI BIN AHMAD          O : OHAR BIN JUSOH  
 R : RAMLY BIN SALLEH        IA : IBRAHIM BIN ALI  
 S : SHAWSIDA  
 AH : AZMI BIN HASSIM  
 Z : ZABIDIN  
 RL : ROSLINDA  
 IS : ISHAM

A : MR. OHAR JUSOH TO THE JAPAN FROM APRIL 1989 - OCT. 1989  
 R.J : REGIONAL TRAINING TO BE CONDUCTED FROM 19th. SEPT. - 21st. SEPT. 1989

DEPARTMENT : EC/IEC

TRAINING SCHEDULE

JUNE, 1968 TO MARCH, 1969

COURSE : INSTRUMENT

MODULE / SUB-MODULE	MONTHS											
	JUN	JUL	AUG	SEP	OCT	NOV	DEC	JAN	FEB	MAR	APR	MAY
11. PROCESS MEASUREMENT												
11.1 TEMPERATURE MEASUREMENT												
11.2 PRESSURE AND LEVEL MEASUREMENT												
11.3 FLOW MEASUREMENT												
12. INDUSTRIAL INSTRUMENT												
12.1 PNEUMATIC INSTRUMENT												
12.2 ELECTRONIC INSTRUMENT												
13. AUTOMATIC CONTROL												
13A.1 FEEDBACK CONTROL												
13A.2 HYDRAULIC CONTROL												
13B. DIGITAL CONTROL												
13B.1 DISTRIBUTED CONTROL SYSTEM FUNDAMENTAL												
13B.2 DISTRIBUTED CONTROL SYSTEM APPLICATION												
13B.3 YENPAC BASIC												
ASIAN REGIONAL TRAINING												
12A.1 FEEDBACK CONTROL C												
DISTRIBUTED CONTROL												
CONCURRENT TRAINING												
S.T. EXPERT												
ROCC.3 HYDRAULIC MAINTENANCE												

\*\*\*\*\* : DEVELOPMENT OF AUDIO VISUAL AIDS.

N : MGRAMAD BIN USMAN

A2 : AZHAR BIN HAT MOON

I : ISRAHAT BIN ALI

Z : ZABTOH BIN ABD. SARHAD

X,Y : DIPLOMA HOLDER TO BE APPOINTED

A : HEAD OF SECTION TO GO TO JAPAN FROM JULY 65 - FEB. 69

R.T : REGIONAL TRAINING TO BE CONDUCTED FROM 13TH TO 15TH, FEB. 1969

-A-26-

ANNEX III

REQUEST FOR COUNTERPART TRAINING IN JAPAN,  
1989

<u>Field</u>	<u>Category of Training Course</u>	<u>Number</u>
Software	I	2
Automotive	I	1
Electrical & Electronic	I	1
Electrical & Electronic	G	2
Instrument & Automatic Control	G	1
Training Affairs	G	1

Note: I : Individual Training Course

G : Group Training Course

HS  
H

## LIST OF COMPONENTS

## DEPARTMENT: PEDAGOGY AND SUPERVISORY

Name	Name of Profession	Date of Birth (Age)	Date of Assignment	Professional Career (Former Career)	Educational Career (Final)	Remarks (Training Place in Japan)
ZALHAN BIN SUKRI	ENGINEER	15.2.1962	27.8.1984	-	B.SC MECHANICAL ENGINEERING	OBSERVATION IN HEAVY INDUSTRY
AMBONGSAMY A/L ADATYALAM	INSTRUCTOR	26.5.1939	1.9.1967	PRINTER	PASSED FORK FOUR	INSTITUTE OF VOCATIONAL TRAINING (IVT)
YERANIM BIN AMI 'A'	INSTRUCTOR	30.8.1946	12.4.1972	MOTOR VEHICLE MECHANIC (ARMY)	ARMY CERTIFICATE OF EDUCATION (INTERMEDIATE)	INSTITUTE OF VOCATIONAL TRAINING (IVT)
IDRIS BIN NORZAMAD	INSTRUCTOR	1.8.1946	1.5.1972	WELDER	VOCATIONAL CERTIFICATE OF EDUCATION APPRENTICESHIP CERT.	INSTITUTE OF VOCATIONAL TRAINING (IVT)
AZIZAH BT. ABD. KAWID	INSTRUCTOR	29.9.1954	16.4.1979	-	MALAYSIAN CERTIFICATE OF EDUCATION	
ZULKIFLI B. HJ. NORU. SIDI	INSTRUCTOR	24.8.1965	25.1.1986	-	DIPLOMA IN ELECTRICAL	
RAHARUDDIN BIN ABU BAKAR	INSTRUCTOR	29.9.1940	16.4.1972	REFRIGERATION AND AIRCONDITIONING	LOWER CERTIFICATE OF EDUCATION	KYOTO SKILL DEVELOPMENT CENTRE
ABDUL LATIF BIN MD. ISA	INSTRUCTOR	24.4.1957	1.12.1972	-	TECHNICAL TRADE SCHOOL	INSTITUTE OF VOCATIONAL TRAINING (IVT)
HASRAN BIN APZAD	INSTRUCTOR	13.2.1957	15.9.1982	-	MALAYSIAN CERTIFICATE OF EDUCATION	IVT. SAGAHARA



DEPARTMENT: PEDAGOGY AND SUPERVISORY  
(CONTINUED)

Name	Name of Profession	Date of Birth (Age)	Date of Assignment	Professional Career (Former Career)	Educational Career (Final)	Remarks (Training Place in Japan)
Y. PARAMACHUNATHAN	INSTRUCTOR	5.5.1936	1983	INSTRUCTOR TRAINING	DIPLOMA IN TRAINING METHODOLOGY	TOKYO
MORDIN BIN KAMALUDIN	INSTRUCTOR	26.3.1944	1983	INSTRUCTOR TRAINING	SPVM STP (STATEMENT)	IVT SAGAMIHARA
SHARIHA ZAITUN BT. MOHD. RADZI	INSTRUCTOR	27.12.1962	30.1.86	-	DIPLOMA IN ELECTRICAL	-
SAYED SALIM B. SAYED MOHD. NOR	INSTRUCTOR	1.1.1963	29.1.86	-	DIPLOMA IN ELECTRICAL	-
MOHD. NOR HASNI B. MOHD. ASAAD	INSTRUCTOR	22.1.1964	27.1.1985	-	DIPLOMA IN MECHANICAL (UTM)	-
A. RASHID BIN AHMAD	TRAINING AFFAIRS	15.7.1942	8.6.1982	ITI INSTRUCTOR	SPVM	-

DEPARTMENT: AUTOMOTIVE

Name	Name of Profession	Date of Birth (Age)	Date of Assignment	Professional Career (Former Career)	Educational Career (Final)	Remarks (Training Place in Japan)
AZMI BIN SAAD	ENGINEER	15.9.1960	12.10.1987	-	B.E. MECHANICAL	-
HUSIN BIN AHMAD	INSTRUCTOR	15.3.1945	27.4.1984	-	S.P.V.M.	PRESENTLY IN JAPAN
MOHD. SAZI B. HJ. JOHARI	INSTRUCTOR	21.8.1943	27.4.1984	-	TRADE SCHOOL	SHIGA VOCATIONAL TRAINING CENTRE SAIGA KMA.
AND. KARIM B. DATO' HJ. KAHARU-BIN	INSTRUCTOR	18.11.1940	27.4.1984	-	FORM II	ADVANCED SKILLS DEVELOPMENT TRAINING CENTRE KIRITSU.
KAGARUZAFAN B. CHU ABD. RAMI	INSTRUCTOR	3.6.1953	25.4.1984	-	DIPLOMA IN MECH. ENGINEERING	ADVANCED SKILLS DEVELOPMENT TRAINING CENTRE KIRITSU.
AZAHRI BIN IPRAHIM	INSTRUCTOR	4.9.1964	4.2.1986	-	DIPLOMA IN MECH. ENGINEERING	
SHAHBUNAIN BIN JUSOH	INSTRUCTOR	1.1.1953	1.11.1985	-	DIPLOMA IN MECH. ENGINEERING	
SYED MOHAMAD NOOR B. SYED MA' AIL	ENGINEER	20.2.1957	17.2.1984	TECHNICAL ASSISTANT	ADVANCE DIPLOMA IN MECHANICAL ENGINEERING	AUTOMOTIVE TRAINING AT I.T.

DEPARTMENT: MACHINE OPERATION AND  
DIE MAKING

Name	Name of Profession	Date of Birth (Age)	Date of Assignment	Professional Career (Former Career)	Educational Career (Final)	Remarks (Training Place in Japan)
MORAMAD BIN YAACOB	ENGINEER	19.12.1958	10.1.1985	TECHNICAL ASSISTANT	B.SC MECHANICAL STRAGGLYDE UNIVERSITY	CSIC 1986 PRESENTLY IN JAPAN
AHMAD BIN JAUFAN	INSTRUCTOR	26.1.1943	1.5.1972	GENERAL MECHANIST	SPVM	KYOTO SKILL DEVELOPMENT CENTRE
SAIFUDDIN BIN BUSHA	INSTRUCTOR	16.2.1962	1.11.1984		DIPLOMA KEJURUTERAAN (UTM)	KYOTO SKILL DEVELOPMENT CENTRE
ANWAR BIN IZRAHIN	INSTRUCTOR	11.12.1943	29.10.1972	GENERAL MACHINIST	S.R.P	KYOTO SKILL DEVELOPMENT CENTRE
ISKANDAR BIN MINGIN	INSTRUCTOR	3.7.1947	1.3.1947	GENERAL MACHINIST	S.P.V.M	KYOTO SKILL DEVELOPMENT CENTRE
MAT SETTA BIN MD. RAJI	INSTRUCTOR	26.1.1963	20.8.1984	-	DIPLOMA KEJURUTERAAN (UTM)	
KARIM BIN MD. HASSAN	INSTRUCTOR	27.3.1946	10.9.1980	-	SPVM	ADVANCE COURSE FORGING & HEAT TREATMENT
STUARI BIN CHE HASSAN	INSTRUCTOR	28.7.1961	4.12.1986	-	DIPLOMA KEJURUTERAAN (UTM)	TOKYO VOCATIONAL COLLEGE, OGAWA MACHI
MOHD. ZAMSAN BIN MUSA	INSTRUCTOR	15.7.1964	17.3.1986	-	DIPLOMA KEJURUTERAAN MEKANIKAL (UTM)	PRESENTLY IN JAPAN
MOHD. YUSOF BIN ABU BAKAR	INSTRUCTOR	2.1.1964	20.1.1986	-	DIPLOMA IN MECHANICAL (UTM)	

DEPARTMENT: FABRICATION

Name	Name of Profession	Date of Birth (Age)	Date of Assignment	Professional Career (Former Career)	Educational Career (Final)	Remarks (Training Place in Japan)
CHAZLAN BIN CHAZALI	ENGINEER	5.1.1962	17.8.1985	-	BACHELOR ENGINEERING	IYT JAPAN
MURRI BIN MOHR	INSTRUCTOR	16.9.1944	10.9.1980	ITI INSTRUCTOR	S.P.V.M	Presently in Japan
BAHARI BIN ABU BAKAR	INSTRUCTOR	5.2.1945	10.9.1980	ITI INSTRUCTOR	S.P.V.M	ADVANCE SKILL DEV. TRAINING CENTER KIMITSU
MOHD. SUKHOPI BIN AHMED	INSTRUCTOR	19.6.1962	4.12.1985	-	DIPLOMA KEJURUTERAAN JENTERA (UTM)	IYT, CHOO SKILL AND DEVELOPMENT CENTRE
MOHD. NOOR BIN MERHAD	INSTRUCTOR	26.7.1963	15.4.1985	-	DIPLOMA KEJURUTERAAN JENTERA (UTM)	
ABD. RAHMAN BIN YUSOFF	INSTRUCTOR	24.4.1964	27.3.1986	-	DIPLOMA KEJURUTERAAN JENTERA (UTM)	
ZULKIFLI BIN HAMID	INSTRUCTOR	13.2.1964	3.2.1986	-	DIPLOMA KEJURUTERAAN JENTERA (UTM)	

DEPARTMENT: HEAVYSHOP

Name	Name of Profession	Date of Birth (Age)	Date of Assignment	Professional Career (Former Career)	Educational Career (Final)	Remarks (Training Place in Japan)
SUINI BIN ABD. FAJID	ENGINEER	1.2.1961	20.8.1985	-	BACHELOR OF ENGI- NEERING MECHANICAL	
MD. ZAKARIA BIN MD. YUSOFF	INSTRUCTOR	20.4.1941	1.12.1984	ITI INSTRUCTOR	CENTRAL APP. BOARD NITTCB	FOUNDRI-INVESTMENT CASTING & DIE CASTING JAPAN
SUNLAI BIN HASSAN	INSTRUCTOR	3.7.1945	16.12.1983	ITI INSTRUCTOR	CENTRAL APP. BOARD S.P.V.M	INVESTMENT CASTING AND DIE CASTING
HAHEMY BIN AYOP	INSTRUCTOR	16.3.1960	21.8.1984	-	DIPLOMA KEJURUTERAAN JENTERA (UTM)	RUBBER MOLDING TECH. SICMA RUBBER CO. LTD. KASHIWA. CHIBU-KEN
KASHIM BIN SAMIR	INSTRUCTOR	10.11.1962	30.8.1984	-	DIPLOMA KEJURUTERAAN JENTERA (UTM)	FOUNDRY & CASTING
CHE SAUPI BIN ISMAIL	INSTRUCTOR	8.3.1962	8.9.1984	-	DIPLOMA KEJURUTERAAN JENTERA (UTM)	
AZAHAR BIN HASSAN	INSTRUCTOR	5.9.1953	24.8.1984	-	DIPLOMA KEJURUTERAAN JENTERA (UTM)	PLASTIC MOLDING
ABD. HADI BIN CHE HALL	INSTRUCTOR	1.6.1964	28.1.1986	-	DIPLOMA KEJURUTERAAN JENTERA (UTM)	
HANZAH BIN ABD ISA	INSTRUCTOR	14.10.1964	28.1.1986	-	DIPLOMA KEJURUTERAAN MECHANICAL ENG., (UTM)	

DEPARTMENT: ELECTRICAL & ELECTRONIC

Name	Name of Profession	Date of Birth (Age)	Date of Assignment	Professional Career (Former Career)	Educational Career (Final)	Remarks (Training Place in Japan)
OMAR BIN JUSOH	ENGINEER	30.11.1957	7.10.1987	TECHNICAL ASSISTANT	DIPLOMA IN ELECTRICAL POWER ENGINEERING, BSc. ELECTRICAL	-
AZMI BIN ALI	INSTRUCTOR	13.9.1950	7.1.1984	ELECTRICAL INSPECTOR HAI-YAWATA STEEL	CITY AND GUILDS LONDON ELECTRICAL INSTALLATION WORK	IVT, SAGAHARA TOKYO OERON TRAINING CENTRE NIIHON DENKI KASHIMA
HJ. MOHD. NOOR B. HJ. MOHD. RASHID	INSTRUCTOR	12.12.1946	11.11.1983	JAMATAN KERTENAPI TANGKIL MELAYU	NIITOB. ELECTRICAL INTERMEDIATE SPWM.	STGA TRAINING CENTRE, KYOTO
ROSINDA BT. DAUD	INSTRUCTOR	21.8.1964	25.1.1986	-	DIPLOMA IN ELECTRICAL ENGINEERING (POWER)	-
ARD. GHANI BIN AHMAD	INSTRUCTOR (ELECTRONIC)	22.4.1963	23.8.1984	-	DIPLOMA IN ELECTRICAL ENGINEERING (COMMUNICATION)	CENTRAL SKILLS DEVELOPMENT CENTRE
AZMI BIN HASIM	INSTRUCTOR	19.8.1963	27.8.1984	-	DIPLOMA IN ELECTRICAL ENGINEERING (COPEL.)	CENTRAL SKILLS DEVELOPMENT CENTRE
SHAMSUDA BT. ZAINAL ABEDIN	INSTRUCTOR	29.2.1964	25.1.1985	-	DIPLOMA IN ELECTRICAL ENGINEERING (COPEL.)	-
RAYLI BIN SALLEH	INSTRUCTOR	26.9.1963	27.6.1984	-	DIPLOMA IN ELECTRICAL ENGINEERING (COPEL.)	-
ISHAN BIN HASIAN	INSTRUCTOR	17.5.1964	30.8.1985	-	DIPLOMA IN ELECTRICAL ENGINEERING (COPEL.)	-

DEPARTMENT: INSTRUMENTATION

Name	Name of Profession	Date of Birth (Age)	Date of Assignment	Professional Career (Former Career)	Educational Career (Final)	Remarks (Training Place in Japan)
ZALUDIN BIN ABUL SAHAD	ENGINEER	12.2.1960	2.1.1985		B.SC IN ELECTRONIC ENGINEERING, USA	LVT, YOKOGAWA ELECTRIC WORK
IBRAHIM BIN ALI	INSTRUCTOR	9.3.1954	11.12.1983	-	S.P.V.M.	YOKOGAWA ELECTRIC WORK
AZAHAR BIN KAT NOOR	INSTRUCTOR	1.1.1962	25.8.1984	-	DIPLOMA IN ELECTRICAL ENGT. (COMMUNICATION)	YOKOGAWA ELECTRIC WORK
MURAHED BIN OSMAN	INSTRUCTOR	11.12.1963	4.2.1986	-	DIPLOMA IN ELECTRICAL ENGT. (COMMUNICATION)	YOKOGAWA ELECTRIC WORK

OSAMA (MALAYSIA) SDN. BHD.  
23A, JLN. 17/45,  
46400 PETALING JAYA,  
SELANGOR, MALAYSIA.  
TEL: 559767, 559763  
TELEX: OSAMA MA37383 P.J. Office: 23A, Jln. 17/45, Petaling Jaya, Selangor, Peninsular Malaysia.  
Telex: JEMCO MA 30984 Tel: 559763, 559767



Osama (Malaysia) Sdn. Bhd.

ORIGINAL

SERVICE AGREEMENT

Equipment Location: PUSAT LATIHAN PENGAJAR DAN  
KEMAHIRAN LANJUTAN (CIAST)  
P.O. Box 12, Seksyen 19  
40700 Shah Alam, Selangor  
Date : 11th December 1987  
Customer's P.O.No : J341876  
Service No : FS-2406  
Terms : Cash

Service Agreement .....( ).....M\$5,500.00

Period Covered By Agreement : From 26th December 1987 to 25th December 1988.

Equipment Covered By Agreement:

- 1. FANUC FS-3TF S/N 7128496
- 2. DC Servo Motors

Related Machine (Not Covered BY Agreement)

- 1. MTB HITACHI-SEIKI Model: HT-20 S/N 20631

OSAMA (M) SDN BHD Located at 23A, JALAN 17/45, 46400 PETALING JAYA, SELANGOR, MALAYSIA, agrees to provide the following service to be performed by factory-trained electronics personnel during the period of this Agreement.

- 0. This Agreement shall take effect upon receipt of payment.
- 1. Maintenance calls to equipment location indicated above as requested by purchaser of agreement, user of this equipment, or authorized agents stated above, to OSAMA (M) SDN BHD during the period covered by agreement. Technical advice and trouble-shooting counselling is available by telephone.
- 2. Service shall be provided during regular business hours, from 9.00 a.m. to 5.00 p.m., Monday to Friday. Work performed after regular hours, or on Saturday, Sunday and Holidays, will be invoiced at the company's regular published rates.
- 3. Period covered by Agreement: As stated above.
- 4. Agreement shall not be valid unless signed copy is received by OSAMA (M) SDN BHD within 30 days after the date of Agreement and service requested before return of Agreement shall be invoiced at the company's published rates, unless otherwise agreed upon.
- 5. The copy of this Agreement, duly stamped and signed, is to be returned to OSAMA (M) SDN BHD, together with your cheque.

Tandatangan bagi pihak OSAMA (M) SDN BHD

Tandatangan bagi pihak Pengguna

Tandatangan :

Tandatangan :

Nama : Choo Kien Loy

Nama : Syed Mohamad Noor

Jawatan : Director

Jawatan : Timbalan Pengarah



OSAMA (MALAYSIA) SDN. BHD.  
23A, JLN. 17/45,  
6407 PETALING JAYA,  
SELANGOR, MALAYSIA.  
TEL: 7589767, 7589783  
TELEX: OSAMA MA37388



Osama (Malaysia) Sdn. Bhd.

ORIGINAL

P.J. Office: 23A, Jln. 17/45, Petaling Jaya, Selangor, Peninsular Malaysia.  
Telex: JEMCO MA 30984 Tel: 559763, 559767

STANDARD CONDITIONS OF SALE

1. Other Work:

This agreement provides for services on the equipment covered only. When other than the covered equipment is found to be the cause of the malfunction or shut-down of the machine tool, service charges shall be priced separately at the company's published rates. Purchaser shall also be billed at the company's regular published rates for service falling into catalogues under normal preventive maintenance procedures or due to minor malfunction, i.e., fuse replacement, wire disconnected, improper operating procedures, etc.

2. Limitations:

This agreement does not apply in case of negligence of the purchaser, his agent, or from acts of third Parties.

This agreement applies only within Southeast Asia

This agreement does not apply when the covered equipment is relocated

This agreement does not cover parts and materials required for repair.

3. Purchaser Responsibility:

Prior to a request for service under this agreement, the purchaser will ensure that the control system has been properly located and interconnected. Sufficient time shall be allocated to provide the services stipulated. The purchaser shall be invoiced charges for delaying access by the servicemen to the covered equipment. Purchaser shall provide machine tool operators and other craft labour and equipment which may be required in the performance of this agreement.

4. Terms of Payment:

Services covered by this agreement will be invoiced as of the effective start up date. Payment shall be made upon signing of this Service Agreement. The company reserves the right to discontinue the service at any time without notice, in the event that payment under this agreement have not been made.

5. Limitation of Liability:

Seller shall under no circumstances be responsible directly or indirectly for any damage to the equipment or adjacent property of the Purchaser, nor for any injuries to persons, except where such damage or injury is directly and solely attributable to the negligence of the Seller. In no event shall Seller be liable for special or consequential damages.

6. Governing Law:

This contract shall be interpreted and construed in accordance with the laws of Malaysia.

---

Peninsular Malaysia Telex: JEMCO MA 30984 Tel: 481583 & 484265

Proposal for the  
Utilization of CIAST's Language Laboratory  
\*\*\*\*\*

Introduction

The language lab of CIAST is equipped with all the necessary facilities since 1984. But due to unavoidable circumstances, it is still unable to function as it should.

Therefore, this proposal is being tabled for discussion so that the lab can be fully functioned not only for the CIAST participants and staffs but it would benefit the whole of Manpower Department staffs - including all the institutes, Ministry of Labour and other ministries as well.

The Facilities

In March 1984, the lab facilities donated by the Japanese Government have been installed. The facilities are as follows:-

- |       |                         |            |
|-------|-------------------------|------------|
| i.    | Master Console Unit     | 1 unit     |
| ii.   | Master Tape Recorder    | 2 units    |
| iii.  | VHS Video Tape Recorder | 1 unit (*) |
| iv.   | VTR/TV Console Box      | 1 unit     |
| v.    | Monitor TV              | 2 units    |
| vi.   | TV Stand                | 2 units    |
| vii.  | Booth Console           | 10 units   |
| viii. | Booth Tape Recorder     | 20 units   |
| ix.   | Head Set                | 21 units   |
| x.    | Room Speaker            | 1 unit     |

(\*) Item reported missing.

Proposal for Utilisation of the Language Lab

Since all the facilities provided for and of the latest type, its merely a wasteful if they are not fully utilised.

The lab can be made use by the Centre in two ways:-

- i. Full-time language course
- ii. Part-time language course

and the language courses that can be offered are:-

- i. Japanese Language (Basic, Intermediate, Advanced)
- ii. English Language
- iii. Bahasa Malaysia

Full-time Language Course

This course is conducted five-day-week beginning from 8:00 am to 3:00 pm. It is controlled by a full-time instructor and assisted by a technician.

## Part-time Language Course

This course can be conducted three times a week from 3:00 pm to 5:00 pm. It can be conducted by a full-time / part-time instructor and assisted by a technician.

## Staff Requirement, Additional Facilities and Instructional Materials for the Language Lab.

To make full use of the language lab, the following items are required:-

### i. Staff

Since the lab will be fully used, the services of three categories of staff are required, they are:-

#### a. Full-time Language Instructor/Teacher.

The Instructor/Teacher should possess a Diploma or certificate in Language to be taught. They will be recruited as full-time instructor at the Centre.

#### b. Part-time language Instructor/Teacher.

It is similar to the full-time Instructor with background in language teaching from other institution. They will be engaged on a part-time basis by the Centre.

#### c. Technician.

The technician should be a graduate from Polytechnics or other institutions with a good background in the handling of electrical/electronics equipments. Preferably to those who has the knowledge of other languages.

### ii. Additional facilities

Additional facilities are probably required to ensure the smooth running of the lab. The list of the additional facilities will be available after a study on the requirement of the language lab is made. The VHS Video Tape Recorder which is reported missing should be replaced with a new one.

### iii. Training Material

Similar to other language lab, the training materials are very important in teaching. All the necessary materials will be made available by the Centre - either by purchasing them locally or seeking foreign government aids for language instructional materials such as cassette, guide books, video, etc.

### The Participants of the Language Courses.

The implementation of the language courses will be divided into three stages.

At the beginning, the lab will conduct Japanese Language courses which is compulsory for counterpart staffs before they undergoing training in Japan. Besides that CIAST other supporting staffs, the public and private sectors can also attend the said course.

The second stage is to conduct English language course mainly for the counterpart staffs. This is important in order to equipped them with a better communicational English for conducting ASEAN Regional Training courses. Later it will be opened to all ITI instructors and from other agencies to upgrade their knowledge in English.

The third stage is to conduct the Bahasa Malaysia course for the ASEAN and foreign participants attending courses at the Centre.

### Request for the Implementation of Language Courses

The Malaysian side as the implementing body would like to request the Japanese assistance in the implementation of the said language courses.

- i. To assign a full-time Japanese teacher to conduct the Japanese language.
- ii. To request a fund to facilitate the English language and Bahasa Malaysia courses or the supplies of instructional materials for the said courses.

資料 5

FOLLOW-UP OF TECHNICAL COOPERATION

<u>Area of Specialization</u>	<u>Number Of Expert</u>	<u>Tentative Period</u>
Instructor Training	1	Jan '89 - Mar '89
Electrical Control	1	Apr '89 - Sept '89
Supervisory Skill Training (Industrial Safety)	1	Jun '89 - Aug '89
Plastic	1	Aug '89 - Oct '89
Automotive	1	Oct '89 - Mar '90
Supervisory Skill Training (Industrial Engineering)	1	Jun '90 - Aug '90
Rubber	1	Sept '90 - Nov '90









JICA